

第六十五回帝國議會
衆議院

健康保險法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和九年二月二十二日(木曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 守屋 榮夫君

理事岸田 正記君 理事佐保 畢雄君

理事岡田喜久治君

野方 次郎君 松尾 孝之君

益谷 秀次君 山田 佐一君

世耕 弘一君 山下 谷次君

久山 知之君 清水留三郎君

武知 勇記君 八木 逸郎君

同日委員増田義一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ一松定吉君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日民族優生保護法案(荒川五郎君外一名提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

社會局長官 丹羽 七郎君

社會局部長 川西 實三君

社會局部長 富田愛次郎君

陸軍少將 山岡 重厚君

海軍少將 吉田 善吾君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 土屋清三郎君

議員 河野 一郎君

內務書記官 白松 篤樹君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

健康保險法中改正法律案(政府提出)

廢兵院法中改正法律案(政府提出)

○守屋委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、八木君

○八木委員 長官ガマダ御見エニナリマセヌカラ後程……

○世耕委員 一寸簡單ニ質問致シタイと思ヒマス、數日前カラノ質疑應答デ、質問ハ大體了解サレタ點ガ澤山アッタヤウニ覺エテ居リマスガ、唯一點今度改正サレル點ニ於キマシテ、強制的ニ實行スルト云フコトニ對シマシテ、何カ緩和ノ方法ヲ御考ニナ

ル必要ハナイカト云フコトヲ、一寸御尋シタイと思フノデアリマス

○丹羽政府委員 只今ノ世耕君ノ御尋ハ、健康保險法ノ今度擴張致シタ所ノ、強制被保險者ニ對スル點ニ付テ、強制ヲ緩和スル方法ハナイカ、斯ウ云フ御尋デアル、申ス迄モナク社會保險、殊ニ疾病保險デアル所ノ健康保險ガ、實際ノ運用上其效果ヲ擧ゲテ行キマスノハ、同ジヤウナ種類ノ產業、或ハ同ジヤウナ種類ノ事業、或ハ同ジヤウナ程度ノ工場ト云フモノガ、一緒ニ保險ノ中ニ入ッテ行クト云フコトデナケレバ、實際ノ成績ヲ擧ゲ難イト云フコトハ、極メテ明瞭ダと思フノデアリマス、負擔ハ必シモ多クハアリマセヌケレドモ、併ナガラ此輕イ負擔デモ、同ジヤウナ人達ガ一緒ニ保險ニ入ッテ行クト云フコトナラバ、快ク此制度ガ運用サレテ行クノデアリマス、ソコデ緩和ヲ致スト云フコトニナレバ、即チ任意ニスル、斯ウ云フコトニ相成ルノダと思ヒマス

付託議案

健康保險法中改正法律案(政府提出)

廢兵院法中改正法律案(政府提出)

衛生組合法案(中井一夫君外五名提出)

傳染病豫防法中改正法律案(中井一夫君外五名提出)

衛生組合法案(野田文一郎君提出)

傳染病豫防法中改正法律案(野田文一郎君提出)

衛生組合法案(福田關次郎君外二名提出)

傳染病豫防法中改正法律案(福田關次郎君外二名提出)

民族優生保護法案(荒川五郎君外一名提出)

ガ、任意ニシテ居ッテハ、成程非常ニ此制度ハ有難イト云フコトヲ能ク了解シテ、進ンデ此制度ニ加入スル者ハ固ヨリアリマスケレドモ、併ナガラ大抵ノ事業主ガ御互ニ一緒ニ入ルト云フノデアレバ宜シイガ、中

中一人ダケ入ルト云フコトハムズカシイ、斯ウ云フコトデ、斯ノ如キ社會保險ハ何處デモ強制ニ致スノデアリマスルガ、先ヅソレデハ皆強制ニスルカト申シマスルト、昨日來ノ御質問ニ御答モ致シタヤウニ、或ハ土木建築デアルトカ、貨物積卸ノヤウナ、他ノ方法ヲ相當ニ考ヘナケレバ實行ガムツカシカラウト云フモノニ付キマシテハ別デアリマスガ、然ラザル、即チ今回強制被保險者ニ致シマスル範圍ニ於テハ、強制致シテ實行スルト云フコトガ最上ノ方法デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○世耕委員 私モ強制的デナケレバ實行ガ出來ナイト云フコトハ、承知致シテ居ルノデアリマスガ、十人以上ト云フ制度カラ急

ニ低下スルト云フコト、殊ニ五人以上ト云フヤウニスルト、此單位カラ見マシテモ、寧ろ家族のナ内工業ト云フコトニ關係ガ深クナリ、元來五人程度ノ工業其他ニ對シテハ、十分ナ社會的知識ノ向上シテ居ル人達ガ關係シテ居ルト云フコトモ、考ヘ得ラレナイ場合ガ多イノデアリマス、本件ニ關シテ特ニ反對者ノ意見ヲ聽イテ見マシテモ、手續ガ非常ニ面倒ダ、故ニ手續上ノ問題デ反對スル者モ可ナリ多數アルヤウニ思ヒマス、元來是迄ノ日本ノ諸制度ノ實施ノ様子ヲ見マシテモ、實施スルト云フト、直チニ其實施當時ノ實情ヲ調査セズシテ、文字通り法理的ニ其實施ヲ強ヒテ、却テ法ノ適用ヲ誤リ、法ノ精神ヲ害スル嫌ヒガ、諸多ノ實例ニ依ッテ之ヲ證明スルコトガ出來得ルノデアリマス、元來健康保險ナルモノハ、社會施設デアルト同時ニ、勞資兩者ノ圓滿ナル發達ヲ圖ルト云フノガ、本法制定ノ御趣旨ダト私ハ考ヘルノデアリマス、然ラバ健康保險ヲ五人以上ニ實施ナサルト云フ御趣旨ノ上カラ見テモ、政策ノ上カラ見マシテモ、強制ハ已ムヲ得ナイと思ヒマシマス、最初カラ強制ヲ實行スルト云フ、強制的ナ立場ニ置イテ置クト云フヨリモ、強制ニ導クト云フヤウナ、緩和ノ方法ヲ御執リ

ニナツタラ如何カト思フ、只今政府委員ノ方カラ御伺シマスト云フト、實施ヲ一年延バスト云フコトモ、一應此點ニ御留意アッテ、爾カ爲サレタカノヤウニ見エルノデアリマスガ、若シサウ云フ御考慮ガアルトスルナラバ、此際更ニ先程來申上ゲタ事柄ニ對シテ御留意アッテ如何カ、特ニ其爲ニ健康保險本來ノ精神ヲ沒却セヨトハ私ハ申シマセヌガ、寧ろ其方ガ却テ本保險法ノ趣旨ガ徹底スルノデヤナイカト考ヘルノデアリマス、此點ニ付テ御意見ガアレバ御參考ニ承ッテ置キタイと思ヒマス

ス點デアリマシテ、御述ノ御意見ニ付テハ御同感ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、是非ハ能ク趣意ヲ分ラシテ、只今御話ノアリマシタヤウニ、一年間ノ猶豫期間ガアリマスルノデ、此期間ニ十分趣意ヲ徹底シ、成程ハ善キコトデアルカラ、一ツ喜ンデ此法律ノ適用ヲ受ケヤウト云フ風ニナリマスルヤウニ、十分努力致シタイと思ヒマス、手續上色々簡易化シマスル點ニ付キマシテハ、昨日モ松尾君、岡田君、其他ノ委員カラ御尋ガアリマシテ、詳細ニ政府委員ヨリ申述ベタノデアリマスガ、此點ハ吾々ノ特ニ力ヲ用ヒテ、今後特ニ善處致シタイト考ヘテ居ル點デアリマスルカラ、此點ヲ十分御諒知ヲ願ヒタイと思ヒマス

マシタカ、六年デアリマシタカ存ジマセヌガ、此健康保險ニ對シテ、政府ト醫師トガ約東ナッテ居ッテ、而シテ藥劑師側ト政府ノ方ト契約ガ出來タ、所ガ大正五年デアリマシタカ、六年デアリマシタカ、藥劑師ノ方ハ健康保險ハ絕對ニ受ケナイト云ウテ、斷ラレタヤウニ承ッテ居ルノデアリマス、此斷ラレタコトハ事實デアリマスガ、斷ラレタ後今日ハドウナッテ居リマスガ、其經過ノ間ニ、此健康保險ノ精神ガ明ニ行ハレテ居ッタカ、行ハレテ居ナカッタカ、之ヲ承リタイ

○丹羽政府委員

只今世耕君ノ御質問ハ、此保險制度ヲ擴張致ス上ニ於テ、強制シテ被保險者トスル、強制被保險者ノ制度ハ是ハ已ムヲ得ナイ、是非必要ナコトデアル、併ナガラ之ヲ實施スル上ニ付テハ、手續上ノコトヲ十分ニ考ヘナケレバイカナイガ、ドウ思フカ、斯ウ云フ御尋ト存ジマス、手續上ノ點ニ付キマシテ、此健康保險法ノ性質ガ、社會政策トシテ勞働者ノ爲ヲ圖リ、又延イテ事業主ノ爲ヲ圖リ、隨テ又勞資ノ協力、産業ニ協力スルト云フコトニ一歩ヲ進メタイ、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居リマスルノデ、其施行上ノ手續ニ付キマシテモ、只今御注意ノ點ハ吾々モ十分ニ考ヘテ居リマ

○丹羽政府委員

御答致シマスガ、藥劑師トノ健康保險ノ契約ハ、昭和六年一旦締結スルコトガ出來ナクナリマシテ、昭和六年以來締結シナカッタノデアリマス、併ナガラ藥劑師ガ醫師ト共ニ健康保險ニ協力セラレルコトヲ望ムノガ至當デアルト考ヘマシテ、又藥劑師側ノ熱心ナル御希望モアリマシテ、昨年更ニ新シク契約ヲ締結致スコトニ相成リマシタ、其期間健康保險上不都合ナコトハナカッタカト、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、其期間ニ於キマシテハ、被保險者ガ藥劑師ニ就キマシテ藥ヲ貰ヒマシタ場合ニハ、之ヲ療養費トシテ支拂ッテ居リマシタノデ、被保險者側カラ彼此レ言フコト

○守屋委員 世耕君、宜ウゴザイマスガ——八木サン長イデスカ、短イデスカ、岡田君ハ昨日質問ヲ半分デ止メテ居ラレマスカラ……

○守屋委員 世耕君、宜ウゴザイマスガ——八木サン長イデスカ、短イデスカ、岡田君ハ昨日質問ヲ半分デ止メテ居ラレマスカラ……

○守屋委員 世耕君、宜ウゴザイマスガ——八木サン長イデスカ、短イデスカ、岡田君ハ昨日質問ヲ半分デ止メテ居ラレマスカラ……

○八木委員

私ハサウ長クナイ積リデアリマス

○八木委員 宜ウゴザイマスガ

○守屋委員

岡田君、宜ウゴザイマスガ

○守屋委員 宜ウゴザイマスガ

○岡田委員

宜ウゴザイマスガ

○岡田委員 宜ウゴザイマスガ

○守屋委員

岡田君、宜ウゴザイマスガ

○守屋委員 宜ウゴザイマスガ

○守屋委員

岡田君、宜ウゴザイマスガ

○守屋委員 宜ウゴザイマスガ

○守屋委員

岡田君、宜ウゴザイマスガ

○守屋委員 宜ウゴザイマスガ

○守屋委員

岡田君、宜ウゴザイマスガ

○守屋委員 宜ウゴザイマスガ

○守屋委員

岡田君、宜ウゴザイマスガ

○守屋委員 宜ウゴザイマスガ

○守屋委員

岡田君、宜ウゴザイマスガ

○守屋委員 宜ウゴザイマスガ

○守屋委員

岡田君、宜ウゴザイマスガ

○守屋委員 宜ウゴザイマスガ

○守屋委員

岡田君、宜ウゴザイマスガ

○守屋委員 宜ウゴザイマスガ

○守屋委員

岡田君、宜ウゴザイマスガ

○守屋委員 宜ウゴザイマスガ

○守屋委員

岡田君、宜ウゴザイマスガ

○守屋委員 宜ウゴザイマスガ

○守屋委員

岡田君、宜ウゴザイマスガ

○守屋委員 宜ウゴザイマスガ

ハ、別段直接聞キマセヌデシタ、大體ニ於テ是ガ爲ニ非常ナ支障ヲ來シタト云フ、具體的ノ事柄ハナカッタヤウニ感じテ居リマス

○八木委員 其時ニ藥劑師ノ決議デ以テ御斷リニナツタ趣意、而シテ其後ニ時ノ安達内務大臣ガ、之ニ向ッテ何等カ調和ヲ求メヤウト云フコトデ、藥劑師側ノ代表者ト、之ニ好意ヲ寄セラレテ居ル代議士、醫者、若クハ醫者ノ肩書ヲ有ッテ居ル代議士ヲ寄セラレマシテ調和ヲ圖ラレテ、吾々モ其調和ノ一人ニ入ッタ、其時ノ藥劑師ヲ代表サレテ居ル諸君ノ斷ツタ理由ハ、醫者ハ藥劑師ガ引受ケテ居ッテモ處方箋ヲ廻サナイ、廻サナイカラ、有名無實デアルカラ、何も出來ナカッタノデアアルカラ斷ル、是非之ヲヤレト云フナラバ、健康保險ニ限ッテ醫者ハ自分ノ方デ藥ヲ出サナイデ、絕對ニ其處方ヲ藥劑師ニ廻スコトニシナケレバ承知シナイ、斯ウ云フヤウナ主張ガアッタノデアリマス、又此主張ハ藥劑師側ガ斷ラレタ主ナル原因デアッタヤウニ承知シテ居リマスルガ故ニ、吾々ハ其當時ニ色々論ジタノデアリマス、日本ノ現在ハ法律デ醫藥分業ニナッテ居ラス、左様ニナッテ居ル、此事柄ガ日本ニ向ッテハ實際偶然ニ考ヘナイデ、惠マ

レタル社會政策ニナッテ居ルノデアリマス、此社會政策ヲ打破ッテ、サウシテ其分離ヲスルト云フガ如キコトハ、社會政策ニ背クノ大ナルモノデアアル、ト云フコトデ、歐羅巴諸國ヤラ日本ノ實際ヤラヲ申入レテ、サウシテソレデ藥劑師側ガ言ハレルト云フコトナラバ、吾々醫者ノ方デハ、ドウシテモ承知ハ出來ナイト申シタノデアリマス、其詳シイコトハ略シテ申シマセヌガ、少クトモ今回御調和ニナリマシテ、藥劑師ノ方モ健康保險ヲ昨年御引受ニ御成リニナッタト云フコトデアリマスガ、其時ニハ又元ノ通りデ御成リニナッタノデアリマスルカ、何等カ政府ト公ケ若クハ契約ノ下ニ御約束ガアッテ、サウシテ藥劑師ガ御受ケニナルヤウニナッタノデアリマスカ、之ヲ承リタイノデアリマス

○丹羽政府委員 昭和六年ニ藥劑師會ト健康保險トノ間ニ契約ガ締結スルコトガ出來ナクナリマシタノハ、御話ノ通り藥劑師側ニ於キマシテハ、醫藥分業ガ出來ナケレバ契約ハ締結シ難イ、斯ウ云フ藥劑師會ノ意嚮ガアリマシタノデ、其儘締結スルコトガ出來ナクナッタノデアリマス、是ハ其後ノ懇談會ニ御出席ニナッタ八木委員ノ十分御承知ノ事柄ダト思ヒマス、然ル所其後段々時日

ヲ經過致シマシテ、昨年ニナリマシテ新タニ契約ヲ締結致シタノデアリマスルガ、此契約ヲ締結致シマシタノハ、全ク我國ニ於キマシテ、藥劑師方面ニ於テモ、此健康保險制度ニ協力ヲ致サウ、斯ウ云フ趣旨ノ下ニ、又健康保險ノ仕事ヲ致シテ居リマスル吾々ニ於キマシテモ、醫師ト共ニ藥劑師ニモ、此大切ナル健康保險ノ中心ノ仕事ニ協力ヲシテ貰フ、斯ウ云フコトガ必要デアルト云フ、此大所ヨリ考ヘマシタ其考ニ基イテ、兩者ガ新シク契約ヲ結ンダノデアリマス、其間特別ナル約束ナドハゴザイマセヌ、併ナガラ藥劑師側ニ於キマシテ希望スル所ハ、當初アリマシタ醫藥分業ノコトモ尙ホ希望ガアルノデアリマス、其希望ガ無クナツタ譯デアアリマセヌ、ソレデ私共トシテハ、我國ニ於キマシテハ開業醫制度ト云フモノガアリマシテ、他ノ國ト同様ニ行カザル實際ノ社會上ノ理由、又患者ノ方面ニ於ケル、醫療ヲ受ケル者ノ考ト云フモノモ、外國ト必シモ同ジデハナカラウト云フヤウナ考モアリマスルガ、何レニ致シマシテモ、此問題ハ將來十分研究ヲ要スル事柄デアルト云フコトヲ申シテ置キマシタ、何等約束ヲ致シタト云フノデハゴザイマセヌ

○八木委員 其懇談會デアリマシタカ、相談會デアリマシタカノ席ノコトヲ、此處ニ持出スコトハ面白クナイカモ知レマセヌガ、其時ニ藥劑師側ヲ代表サレタ意見ハ、斯様ニシテ居ッタナラバ醫者ハ處方ヲ廻サヌ、健康保險ノ被保險者ガ處方ヲ吳レト求メテモ出サヌ、藥ヲ出スコトニスルカライケナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ言ハレタコトヲ聞イタノデアリマスガ、私ハ左様ナコトハ事實ノ上ニナイト思フ、患者ガ遠方デアルカラ處方ヲ下サイ、或ハ近所デ貰フ方が便利デアルト云フヤウナ場合ニ於テ、醫者ガ俺ノ所ノ藥ヲ飲マナケレバ承知シナインント云フコトハ、斷ジテアルベカラザルコトデアアル、若シ左様ナコトガアッタラ、醫者ノ信任ハ零ニナルカラ、絕對ニナイト申シテ居ッタノデアリマスガ、吾々ハ今日ニ於テモ左様ナコトハ無論ナイト思ヒマスルノデ、左様ニ信ジテ居リマスルガ、左様ナコトハ事實社會局ノ政府ノ方ノ目カラ見テ、アル譯ハナイト思ッテ居ラレルノデアリマセウカ、幾分カ左様ナ藥劑師ノ言ハレルガ如キコトガ、事實ニアッタト認メラレテ居ルノデアリマスガ、一寸伺ヒマス

○丹羽政府委員 處方箋ヲ患者ガ要求シタノニ、處方箋ヲ出サナイト云フヤウナ事實

ガアルト思フカ、ドウカト云フ御尋ダト思ヒマスガ、被保險者ガ處方箋ヲ要求シタ場合ニハ、其交付ヲ拒ムコトガ出來ナイト云フコトハ、法律モ既ニ規定致シテ居ル明瞭ナ事柄デアリマス、私ハ今日マデ具體的ニ、被保險者ガ處方箋ノ交付ヲ要求シタノニ、之ヲ拒ムト云フ事柄ヲ別段聞イテハ居リマセヌ、

○八木委員

ソレデハ左様ナコトガナカッタトシテ、又藥劑師側ノ諸君モ是ハ事實ニ於テ御了解下サレタコト、シテ、私ハ喜ブ次第デアリマス、將來此醫藥分業ト云フコトニ向ッテ、政府ハ色々事情ガアルカラ、能ク研究スルト云フコトデアルダケデ、何等ノ約束ガナイト云フ御答デアリマスガ、先ヅサウデアラウト思ヒマス、其研究ハ將來遊バスコト、存ジテ居リマスガ、私ノ研究ヲ參考マデニ少シバカリ申シテ置キタイト思フ、私トシテノ持論ハ日本ダケガ醫藥分業シテ居ラヌ、是ガ醫藥分業スベシト云フ大ナル根據ニナッテ居ルノデアリマス、吾々ハ日本國トシテ斯様ナ制度ガ何時始マッタカ知ラヌガ、斯様ナ制度ガ行ハレタト云フコトヲ、洵ニ社會政策ノ爲ニ喜ンデ居ル譯デアリマス、恐ラク大名ガ知行ヲヤッテ醫者ヲサシタ、故ニオ醫者サンガ藥ヲヤラス

デモ、餘リ生活難ニ困ランデヤッタト云フヤウナ事柄ガ、斯様ニナッテ來タノデヤナイカト思フノデアリマス、私ガ歐羅巴ニ居リマシタ時分ニ、患者ガ醫者ニ錢ヲ拂ハナイ、醫者ガ之ヲ裁判所ニ願フタト云フ場合ニ於ケル所ノ最低ノ値ガ決ッテ居ル、其最低ノ値ガドウカト云フト、一寸髭ヲ剃ルノガ幾ラ、耳ヲ掃除スルノガ幾ラ、胸ヲ叩イタラ幾ラ、或ハ子宮ヲ診タラ幾ラ、眼ノ底ヲ診タラ幾ラト云フヤウニ、色々値ガ決ッテ居ル、一ツ分ラヌ病氣ガアッテ、五ツモ、七ツモ、十モ其方法ヲ講ジテ病人ヲ診レバ、一ツノ診察ニ非常ニ高ク掛ルノミナラズ、處方ヲ書ク時ニ、處方ハドウカト云ヘバ、例ヘバ單舍利別ハ幾ラ、或ハ何ハ幾ラ、斯ウ書イテ、サウシテ縮メテ幾ラ、技術料トシテ藥劑師ノ取ルモノガ幾ラ、斯ウ云フヤウニナッテ居ルノデアリマスカラシテ、非常ニ低イ、一番低イ「ミニマム」ニ拵ヘテアルケレドモ、寄セテ見ルト、分ラヌ病氣ニナルト非常ニ金ヲ取ラレルト云フコトデアル爲ニ、向フデハ醫者ニ掛ラヌデ治ス廣告ガ新聞ニ一杯ニアッテ、丁度賣藥ノ廣告ト同ジヤウニ出テ居ルト云フコトデ、如何ニシテモ政策上醫藥分業ト云フモノハ宜クナイヤウニ感ジタノデアリマス、故ニ

假ニ醫藥分業ヲ此處デ行フトシマシタナラバ、醫者ハ今ノ收入ダケデ暮サナケレバナラヌノデアリマスカラシテ、之ヲ診察料ニ多ク掛ケテ、サウシテ今ノ收入ヲ取ルコトニ相成ルデアラウ、ソコヘ藥劑師ガ調劑スルト云フコトデ、一萬人ノ藥劑師ヲ拵ヘルト云フト、此一萬人ノ一人ガ年ニ三千圓デ暮ストシテモ、三千萬圓ト云フモノガ病人ニ賦課サレルコトニナル、斯ウ云フヤウニシテ社會政策ハ行ケルモノカ、行ケヌモノカト云フト、ソコニ大ナル社會政策上ノ缺陷ガ生ズルノデアル、諸威デアルトカ、瑞典デアルトカ云フヤウナ國ノ山奥デハ、一旦與ヘタ醫藥分業ノ權利ハ奪フベカラズ、併ナガラ便宜上醫者ニ調劑スルト云フコトヲ全然許サユナ形ニナッテ居テ——日本ニ今日行ハレテ居ルノハ、ドウシテ行ハレタカ知ラヌガ——非常ニ之ヲ喜ンデ居ッタト云フコトハ、吾々向フノ方カラ聞イタヤウナ譯デアリマス、又藥劑師ト云フモノハ、調劑ヲスルコトヲ以テ任務ノ如ク言ハレテ居ルノガ間違デ、藥劑師ト云フモノハ藥ヲ拵ヘル、製劑ヲスルト云フ大ナル任務ヲ有ッテ居ル、此製劑ヲスルト云フ任務ヲ有ッテ居ル爲ニ、試験ヲ受ケル時ニ色々ナ學科ヲヤッテ、此學科ヲヤッタ者デアルナ

ラバ、默ッテ調劑ヲサセテモ危險ガナイト云フノデ與ヘラレテ居ル、醫者ハ醫者デ、藥物學モ處方學モヤルノデ、此醫者ニ調劑ヲサセテモ何等危險ガナイト云フノデ與ヘラレテ居ル、醫者ハ病氣ヲ診斷シ、之ヲ治スノガ任務デアアル、藥劑師ハ製藥ヲスルノガ任務デアアル、調劑ハ片手間ニ許サレタモノデアルト云フ、學問上ノ結果トシテサレタモノデアリマシテ、分業ト云フコトハ社會政策上ニ悖ルト云フコトヲ能ク御承知ノ上、御研究アランコトヲ希望シテ、此質問ヲ閉ゼルコトニ致シマス

○岡田委員

昨日ノ質問ニ引續キマシテ御尋致シマス、兎ニ角當業者ノ陳情ノ點ヲ見マシテモ、非常ニ手續ノ煩瑣難解ト云フコトヲ憂慮致シテ居ル譯デアリマス、殊ニ其中ニハ多年ノ經驗ニ基キマシテ、十人以上若クハ十人以下ニシテ、特殊ノ性質アルガ爲ニ適用セラレテ居ル工場、即チ小工場ニ於ケル所ノ實績ニ徴シテ見テモ、餘程斯ウ云フ煩瑣ナ手續ニ對シテハ、非常ナ苦ミヲ受ケテ居ルノデアアル、斯ウ云フ事實ヲ提ゲテ、一應陳情シテ居ル譯デアリマス、是ハ私共モ同様ニ又此心配ガ大ニナイノデハナイノデアリマス、ダカラシテ斯様ナ小サナ工場ニ於ケル、從來ソレノ手續煩瑣ノ爲

ニ、非常ニ煩累ガアツタト看做サレルヤウ
ナコトガ果シテアルノカナイノカ、ソレガ
ナカッタト云フナラバ、何カ其處ニ統計的
ニ若クハ觀察的ニ、明瞭ナ御説明ヲ煩シタ
イト思フノデアリマス、例ヘバ是ガ爲ニハ
サウ云フヤウナ小工場等ニ於キマシテ手續
ノ違法、詰リ手續ノ取扱ノ間違ノ爲ニ、法
規ニ定メラレテ居リマス所ノ處罰ヲ受ケタ
等ノ件數ガ非常ニ多イモノカドウカ、是ガ
若シ十人以上五十人以下ノ工場ト云フヤウ
ナ區別ニ依ッテ明示サレテ居ルナラバ尙ホ
幸ヒト思ヒマス、ソレト五十人以上ノ工場
トノ比較ヲ見テ、果シテサウ云フ小工場ニ
於テハ、手續煩瑣ノ爲ニ結局處罰ヲ受ケル
ヤウナ所マデ行ッタカドウカ、サウ云フ統
計上ノ資料等ガアルナラバ御示ヲ願ヒタ
イ、先ヅソレヲ御同致シマス

○川西政府委員 只今マデノ所デハ、手續
ノ違反ノ爲ニ特ニ處罰ヲシタト云フ風ナモ
ノハ、殆ドナイト申上ゲテ宜イト思ヒマ
ス、唯被保險者ノ資格ヲ取得シタ場合ニ、
事業主ガ届出デル義務ヲ負フ、ソレガ往々
ニシテ届出ガ遅延致シタト云フヤウナコト
ハアリマス、其外ノコトデ特ニ處罰シタト
云フモノハナイト思ヒマス

○岡田委員 ソレカラ又手續ガ非常ニ面倒

デアルガ爲ニ、所謂保險料ノ掛棄テト申シ
マセウカ、即チ被保險者ノ資格ヲ喪失シテ
居リマシテモ、適當ナ脱退ノ届出等ノコト
ヲ致サナカッタ爲ニ、保險ニ掛ッテ居ッテ保
險給付ノ恩典ヲ受ケルコトガ出來ナカッタ
ト云フヤウナコトモ、色々陳情シテ居ル譯
デアリマス、之ヲ確メルコトハ固ヨリ非常
ニムヅカシイコト、思ヒマス、思フニ保險會
社デハ、サウ云フ場合ニハ事實其者ガ二箇
月モ三箇月モ前ニ解雇サレルトカ、罷メル
トカ、即チ被保險者ノ資格ヲ失ッテ居ルナ
ラバ、適ッテ適當ナ取扱ヲスルト云フコト
ニ依ッテ、サウ云フコトヲナカラシムルヤ
ウナ處置ヲ付ケテ居ルノガ普通デヤナイカ
ト想像致シマス、併シ尙且サウ云フコトヲ
理由トシテ色々陳情ヲシテ居ル所ヲ見マ
スト、何カ其間ニ又サウ云フ嫌ガアルノデ
ハナカラウカト云フコトモ思ハレルノデア
リマス、此點ハ統計等ニ依ッテ之ヲ推定ス
ルコトハ非常ニ困難デアリマスルカラシ
テ、事實ニ付キマシテ一ツ觀察上ノ御話ヲ
伺ッテ見タイト思フノデアリマス、サウ云
フ嫌ハ萬々ナイ筈デアアル、サウ云フ主張ハ
成程アルノデアアルガ、ソレハドウモ一片ノ
疑デハナカラウカト云フヤウナ工合ニ、當
局トシマシテ、此點ニサウ云フ弊風ガナイ

ト云フダケノ御信念ガアルナラバ、御信念
ノアル所ヲ十分ニ一ツ承ッテ見タイト思ヒ
マス

○川西政府委員 只今ノ御質問ハ全ク御察
シノ通り、サウ云フ問題ハ計數トシテ特ニ
私共承知致シテ居リマセヌ、私共ノ觀察致
シテ居リマス所デハ、先程モ一寸申上ゲマ
シタヤウニ、或ハ届出漏レノ爲ニ其間病氣
ニ罹ッタ者トカ、其届出ニ依ッテ資格ヲ取得
シタ場合、或ハ資格ヲ既ニ失ッタ場合――
資格ヲ失ッタ場合デモ、一定期間療養ヲ受ケ
ル權利ヲ有ッテ居ル譯デアアル、サウ云フ風ナ
人ガ見付カリマシタ場合ニハ、御言葉ニモ
ゴザイマシタ通り、適ッテ被保險者ガ有シ
テ居リマシタ權利ヲ十分ニ實行サセルヤウ
ニ努メテ居ル次第デゴザイマス、サウ云フ
事例ハ時々ゴザイマス

○守屋委員長 武知君ガ見エマシタカラ、
武知君ノ昨日ノ質問ニ對シテ政府委員ノ方
カラ御答スルコトガアリマスレバ、此際仰
シヤッテ戴キタイ

○川西政府委員 昨日武知サンノ御尋ノ中
デ、熊本ノ片倉製絲工場ニ於テ、其出張所
ヲ撤廢サセタヤウナコトガアッタヤウニ聞
イテ居ルト云フ點デ、調査ノ上御答スルト
云フコトヲ申上ゲテ置キマシタガ、念ノ爲

ニ片倉製絲ノ本社ニ就キマシテ第一番ニ聞
合セテ見マシタ、ソレニ依リマスト斯ウ云
フコトガアリマス、熊本ノ工場デハ休養室
ト云ウテ、約二十名バカリ收容シ得ルモノ
ガ設ケラレテアル、所ガ其處ニハ藥局ノ設
備ガナイ、ソレニ付テ官廳カラ之ヲ禁止ス
ルト言ハレタ事實ハナイ、ソレカラ工場ノ
従業員ノ傷病ヲ治療スル爲ニハオ醫者サン
ガ二名、是ハ多分保險醫ダラウガ、其二名
ヲ囑託シテ出張日ヲ定メテ治療ニ當ラシメ
テ居ル、斯ウ云フコトデアリマシタ、ソレ
カラ診療所取締規則ニ準ジテ設備ヲシテ、
今度出來マシタ醫師法關係ノ規則ニ依リマ
シテ、診療所ヲ設置シマシタ場合ニハ届出ヲ
スルコトニナッテ居リマス、其準ジテ設備ヲ
シテ、今届出ニ付テハ手續中デアアル、斯ウ
云フコトデアリマシタ、ソレニ依ッテ想像サ
レル所ヲ、先方ノ話モ併セテ申上ゲマスト、
藥局開設ノ禁止ニ關シテハ、當事者ニ於テ
ハサウ云フ事實ガナイト云フコトヲ、本社
デ言ウテ居ラレル譯デアリマス、何カ誤解
ガアルノデヤナカラウカ、ソレカラ此工場
ハ醫師ヲ囑託シテ出張診療ヲ行ハシメテ居
ル、斯ウ云フ事實カラ見マスト、特定ノ保
險醫ガ一定日ニ來テ診療ニ從事シテ居ル譯
デアリマシテ、ヒヨットスルト保險醫ガ嘗テ

縣廳ニ届出デ、アツタ診療所在地ノ中ニ、今出張シテ診療シテ居ル場所ノ届出ガ縣廳ニナイ、斯ウ云フ爲ニ、詰リ届出外ノ診療所デ診療ヲシテ居ル、ソレハ手續ガ落ちテ居ルゾト云フヤウナ注意ヲ、保険課邊リガシタカモ知ラス、本社ノ人ノ言ハレルニハ、

デ、私ガ實地ニ就テ調べマシテ、確タル信念ト事實ニ則シテ申上ゲタノデハナクシテ、關係シテ居ル上田ト云フ人ガ申シタノデ、御尋申上ゲタヤウナ次第デアリマスガ、只今ノ詳細ナ御説明ヲ承リマシテ諒承致シマシタ

質問デゴザイマシテ、丁度サウ云フ問題ニ付キマシテ、此手續ノ簡易化、被保險者並ニ事業主ノ便宜ニナルヤウニ致シタイト、折角此研究ノ對象ト致シテ居リマス

何トナク少イヤウニ思ヒマスルシ、其様ナ程度ノ職員數ヲ以テシテハ、到底斯ウ云フ煩瑣ナ事務ヲ處理スル上ニ於テ、十分トハ言ヒ得ナイデハナカラウカト存ズルノデアリマス、隨テ以上ノ點ヲ更ニ又御同致シテ置キマス

總テ縣廳ノ保険課ヘ親シク出入シテ居ルモノデアリマスカラ、色々ノコトヲ御相談シテ居リマス、多分オ前サンノ方デ今ヤッテ居ル所モ、届漏レデヤナカラウカト云フヤウナ御注意ヲ受ケタノデヤナカラウカト思ヒマス、ソレカラ先程モ申上ゲマシタヤウニ、

是非サウ云フ點ニ立入リマシテ、十分ニ御研究ノ上、之ヲ實施スルニ付キマシテハ、

算ノ計畫、費用ノ計畫等ニ付テハ、昨日モ御答申上ゲマシタヤウニ、具體的ニ申上ゲ兼

可ガマダナイ、手續申デアルト云フヤウナコトカラ考ヘテ見マス、保険課カ或ハ衛生課カ、然ルベキ方面カラ、其手續ガ濟マヌ間ハ診療スルコトガ出来ナイノデヤナ

カ、様々ナ變ツタ取扱ヲスルヤウナ設備ヲシテ居ル向モ中ニハアツタデアラウト思ヒマス、併シ今回更ニ斯ウ云フヤウナ擴大ヲ期待シテ實施スル上ニ於テ、何カ其點ニ付テ御計畫ハナイモノデアリマセウカ、例ヘバ

何カ其位ノ方法ヲ御講ジニナルノ必要ガアルカト思ヒマスノデ、希望トシテ申添ヘテ置キマス、尙ホ昨日御答辯ヲ戴キマシタ明年度ノ事務費ニ關スル豫算計畫デアリマ

答申上ゲマシタヤウニ、具體的ニ申上ゲ兼ネマスガ、大體カラ申シマス、實施ヲスル際ノ一年ニ要スル事務ノ費用ハ約五十萬圓位デナカラウカ、人員ハ昨日申上ゲタ數ノ約倍數ニナラウカト思ッテ居リマス

診察所ガ診療所取締規則ニ基ク届出又ハ許可ガマダナイ、手續申デアルト云フヤウナコトカラ考ヘテ見マス、保険課カ或ハ衛

其様ナ工場會類似ノ團體等ニ付テ、一層サウ云フ代書取扱ヲ擴大シテ便宜ヲ圖ルトカ、

御腹案デアラウト存ジマスガ、併シ苟モ此様ナ法規ノ擴大ヲ圖ツテ實施シヨウト云フ上ニ於キマシテハ、ドウシテモソレニ對スル

點ニ付キマシテハ、以上ノ質問ニ依ッテ諒承致シマシタ、唯返スノモ申上ゲマシタ通

生課カ、然ルベキ方面カラ、其手續ガ濟マヌ間ハ診療スルコトガ出来ナイノデヤナ

又ハ之ニ對シテ専門ノ代書業等ノ至極便利ナ方法ヲ考慮ノ上、之ヲ助成スルト云フヤウナコトデモ御考ニナッテ居ルカ、或ハ又保

當局限リノ相當ノ計畫ガナケレバナナルマイト思ヒマス、昨日御話ノ點ハ、九年度分ハ追加豫算ニ屬スルモノ、ヤウデアリマスガ、

デアルト思ヒマス、ドウカ是ガ實施サレルニ於キマシテハ、以上申上ゲタ趣旨ニ於キマシテ、十分遺漏ナキヲ期シマシテ、當業

葉ガアツタノデハナカラウカ、斯ウ推察サレル、縣ノ方カラハ、電話ノ故障等ガゴザイ

險官署自體ガ定期的ニ始終巡回致シマシテ、特ニ是等ノ小工場ニ對シマシテハ、願肩ノ

即チ是ハ昭和十年四月一日ヨリ成規ノ實施ヲ見ル譯デアリマスカラ、明後年度完全ニ

マシテ、十分遺漏ナキヲ期シマシテ、當業者ニ於テ萬一ニモ此點ニ對スル不安ノナイ

○武知委員

色々御手数數ヲ煩シマシテ洵ニ相濟ミマセヌデシタ、實ハ私ハ片倉製絲ニ關係シテ居リマス上田ト云フ方カラ聞キマシタ儘ヲ、率直ニ申上ゲマシタヤウナ次第

○岡田委員

此願肩ノ便宜ヲ圖ル爲ニ、從來ノ工場會等ニ依ッテ便宜之ヲ代書スルトカ、様々ナ變ツタ取扱ヲスルヤウナ設備ヲシテ居ル向モ中ニハアツタデアラウト思ヒマス、併シ今回更ニ斯ウ云フヤウナ擴大ヲ期待シテ實施スル上ニ於テ、何カ其點ニ付テ御計畫ハナイモノデアリマセウカ、例ヘバ

○川西政府委員

洵ニ御適切ナ御親切ナ御思ヒマス

○岡田委員

只今マダ具體的ノ御計畫ハ御有チデナイヤウニ思ヒマスガ、ソレナラバ

テ健康保險法ヲ擴大スル譯デアリマスガ、之ニ關聯シテ話デアリマスガ、工場法ノ適用ニ付キマシテモ、將來或ハ十人以下ニ之ヲ及ボスト云フヤウナ御見込若クハ御腹案、御計畫等デモオアリデアアルカドウカ、此點ニ對スル御所信ヲ一寸承テ置キタイと思フノデアリマス

○丹羽政府委員 工場法ヲ十人未滿ノ工場ニモ適用スル考ハナイカト云フ御尋デアリマスルガ、大體工場法ハ集團的ナ、近代の工業ナリ、工場ヲ律スルト云フヤウナ積リデ出來テ居リマスノデ、特別ニ危險ノ多イモノ、或ハ特別ニ取締ヲ要スルモノ、或ハ特ニ不正競争ヲ惹起スル虞ガアルモノト云フヤウナ、特殊ノ理由ガアリマスルモノハ、或ハ部分的ニ考ヘルカモ知レマセヌガ、一般的ニ目下ノ所ハ何モ擴張ノコトヲ考ヘテ居リマセヌ

○岡田委員 最後ニ農村ノ健康保險ニ付キマシテ伺ッテ見タイと思ヒマス、此點ハ先日清水君カラモ一寸御質問申上ゲタ譯デアリマス、其際ノ御答辯ニ依リマシテモ、凡ソノコトハ承知シタ譯デアリマスガ、御承知ノ通り、兎ニ角農村ニ於キマシテハ、今日既ニ健康保險ノ必要ヲ痛感致シタ結果デアリマセウカ、自然ノ勢ト致シマシテ、御承

知ノ通り醫療組合設備ニ依ル醫療計畫ガ行ハレツ、アルヤウナ譯デアリマス、之ヲ見マシテモ、如何ニ農村ノ現狀ト云フモノハ、斯様な意味合ノ社會的醫療施設ト云フモノヲ必要トシテ居ルカト云フコトガ窺ハレル譯デアリマス、申ス迄モナイコトデアリマスルガ、外國ノ例ニ見マシテモ、農村ト云ハズ、商業使用人ト云ハズ、殊ニ農村ニ於キマシテハ、各種各般ノ保險制度ガ行ハレ、其中デモ斯様な健康保險制度ヲ實施セラレツ、アルヤウナ狀態デアリマス、今日色々此點ニ付キマシテハ、農村ニ於テモ自覺致シマシテ、或ハ收穫其他ノ問題ニ付キマスル所ノ一般ノ農業保險、或ハ漁業保險、森林保險等ノ要求切ナルモノガアリマシテ、議會ニ於キマシテモ最近年々是ガ建議案ガ提議サレツ、アルヤウナ譯デアリマス、併ナガラ考ヘテ見マスレバ、サウ云フヤウナ産業上ノ保險制度ノミナラズ、今日ノ日本ノ農業ノ實情ヲ考ヘテ見ルト、又農村ノ實況ヲ考ヘテ見マスルト云フト、斯様な醫療施設の保險制度ヲ設ケルト云フコトガ、今申上ゲル通り非常ニ必要デハナカラウカト

思フ、此點ニ付テハ、當局ニ於テハ昨日ノ御答辯ニ依ッテ伺ッタ所ニ依リマシテモ、未ダ十分ナ御調査若クハ御計畫等ガナイノデハナカラウカノヤウニ思ヒマシテ、頗ル遺憾ニ思ヒ、且又心寂シク思ハザルヲ得ナイノデアリマス、ドウシテモ此點ハ特ニ社會局ニ於キマシテ率先致シマシテ、是ガ調査立案ニ從事シ、是非トモ斯様な社會施設ノ實現ヲ期シマシテ、大ニ是ガ促進ノ爲ニ御努力ヲ願ハナケレバナラヌカト思フノデアリマス、隨ヒマシテ一層是ガ調査費ヲ設ケルトカ、或ハ其他具體的ノ計畫ヲ定メマシテ、是ガ調査ノ促進ヲ希望スルノデアリマスルガ、此點ニ付キマシテノ御意嚮ガドウデアリマセウカ、社會局當局ノ御答辯ヲ得タイと思フノデアリマス

○丹羽政府委員 只今岡田君ノ農村ニ於ケル健康保險制度ノ必要ニ付テ縷々御述ノ點ニ付キマシテハ、洵ニ適切ナル御意見ナリト考ヘテ居ル次第デアリマス、種々ノ農村問題ガアリマスルガ、農村ノ醫療問題ハ、御話ノ通り一ツノ重要ナル事項デアルト考ヘマス、今日ノ所デハ農村ノ最下層ノ者ニ付キマシテ、御承知ノ通り救療事業ヲ行ッテ居リマスルガ、ソレカラ上ノ方ニハ實ハマダ何等ノ施設ガナイノデアリマスカラ、是ハ御話ノ通りニ何トカ適當ナ方法ヲ講ジナケレバナライノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、只今何カ調査費デモ取ッタ

ラドウカト云フ御話モアリマシタガ、今日ノ所デハ社會局ノ手ヲ以チマシテ、出來ル限りノ調査ヲ進メタイ、立案モ進メタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○岡田委員 現在自然ニ發達シマシタ醫療施設ニ對シマシテモ、御承知ノヤウニ此趣旨ガ中々世間カラ十分ニ諒解セラレマセズ、甚シキハ非常ナ誤解ヲ受ケルト申シマセウカ、少クトモ一部ノ者カラ非難反對ノ聲サヘ起ッテ居ル譯デアリマシテ、産業組合ノ組織制度ニ依ッテ、斯様な醫療施設ヲヤルト云フコトハ、或者ハ産業組合ノ本旨ニ反スルデヤナイカト云フ者モアレバ、或ハ産業組合ガ其處マデ手ヲ伸バシテハ困ルト云フ論者モアレバ、或ハ醫療方面ノ當事者カラハ、是ガ醫業ニ與フル打撃ノ見地カラ、此施設ニ向ッテハ色々非難ヲ攻擊ガアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、固ヨリ立場々々ニ依ッテソレ／＼ノ理由ガアルデアリマセウガ、何レニシテモ斯様な重要ナ社會的施設其モノニ對シテ、斯様な誤解ガアリ、乃至又非難ガアル、隨テ又此事業ノ發達ノ爲ニ少カラザル支障ヲ及ボシツ、アルト云フコトヲ考ヘマスト、私共モ是ハ容易ナラザル事デアルト思フノデアリマス、隨テ斯様なモノヲ産業組合制度ノヤウナモノニ委シ

テ置クコトガ是カ非カ、産業組合制度ヲ基礎トスレバコソ、斯様ナ施設ニ對シテ、トモスレバ以上申上ゲタヤウナ非難ヲ惹起スル原因ガアルノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、隨テ是ハドウシテモ一步進シテ、獨リ是ハ産業組合等ニ委シテ置クノミナラズ、進ンデハ今申上ゲタ通り、根本的ニ農村ニ於ケル健康保險制度ヲ施行スルト云フ考ヲ以テ、其計畫ヲ進メナケレバナラヌト思フノデアリマス、併シ併セテ又現在ノヤウナ状態ニ於ケル産業組合ノ組織ノ醫療施設ニ對スル種々ナル支障、攻撃等ニ付テモ、社會事業當局者トシテハ特ニ御注意ニナリマシテ、須ラク適當ノ方法ヲ講ズルト云フコトガ餘程大切デハナカラウカ、甚ダ穿ツタ話デアリマスガ、此點ニ付テハドウモ社會局當局ニ於テ十分御留意ニナリ、十分御努力ニ相成ッテ居ルト云フヤウナコトヲ、遺憾ナガラ認メルコトガ出來ナイ位デアリマス、併シ私ハドウシテモ社會局當局ガ特ニ此間ニ力ヲ入レマシテ、而シテ是等ノ圓滑ナル所ノ運用ナリ發達ヲ遂ゲシメマシテ、現状ノ儘更ニ改善ト普及ヲ圖ルカ、若クハ現状ニ對シテモウ一步進ンデ根本的ニ制度ヲ改善シテ、社會ニ於ケル種々ノ誤

解ヲ防ギ、而シテ一層施設ノ徹底ヲ期スルヤウニ致ス、此點ガ非常ニ大切デハナカラウカト思フノデアリマス、此點ニ付テノ御意嚮、乃至又此問題ニ對シ從來處置シタコトガアルトスレバ、其處置シタ事例ニ付キマシテ、御話ヲ承リタイト思ヒマス

キ點ハ公式、非公式ニ色々注意ハ致シテ居リマスガ、社會局トシテ是ナラ宜シイト云フ位ニ案ガ未ダ充實致シマセヌカラ、立案ノ考究ト相俟ッテ兩者ノ關係モ十分ニ考ヘテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

施設問題ト云フモノハ、其儘放置致シマスルト、時代ノ然ラシムル所、段々ト利害ノ相反スル所カラ、様々ノ之ニ對スル支障ヤ苦情ガ起リマシテ、事業ノ適正ナル發達ヲ阻害スルヤウナ虞ガ多アルノデアリマス、ドウシテモ其間ニ於テ、社會事業ト云フ見地カラシテ、社會局當局ガ、ドウシテモ斯ウ云フ問題ニハ萬遍ナク注意ヲ注イデ、サウシテ關係當局ト連絡ヲ保チ、打合ヲ遂ゲ、特ニ社會施設ノ見地カラシテ種々御要求ヲナサルト云フコトハ、極メテ私ハ肝要デハナカラウカト思ヒマス、現在ノ儘デアリマスルト云フト、例ヘバ衛生當局ハ、トモスレバ醫師ノ反對トカ、醫師ノ運動トカ云フモノニ牽制サレマシテ、ソレヤ是ヤノ事情ヲ酌量シ勝チノ結果ト致シマシテ、本來ノ目的タル社會事業ノ發達ト云フコトニ對シテ、必シモ最善ノ努力ヲ持チ、最善ノ擁護ニ相成ラヌト云フノガ、實際ノ傾向デアラウト思ヒマス、ソレダケニドウシテモ社會事業トシテノ十分ナ後援ヲ爲シ、社會事業ノ發達ヲ後援スル使命ヲ有ッタ當局ノ御奮發ヲ爲サルコトガ大ニアルダラウト私ハ思ヒマス、時勢ノ傾向ガ、段々各方面ニ以上ノヤウナ傾向ガアリマス以上、特ニ此點ニ付キマシテ、私ハ社會事業主管ノ當局ニ

○丹羽政府委員 只今産業組合トシテノ醫療利用組合ノ問題ニ付テ縷々御述ニナリマシタガ、私共ハ今日ノ農村ノ實情カラ考ヘマシテ、斯様ナ制度ガ起ルト云フコトモ無理カラヌ事柄ノヤウニ考ヘテ居リマス、之ニハ自ラ長所モアリ、又注意ヲ要スル點モアルト思ヒマスガ、私共ノ所管ノ方面カラ申シマスルト、中々斯様ナ制度ダケデ宜シイトハ考ヘテ居リマセヌノデ、先程來申シマシタヤウナ保險制度ト云フモノヲ、十分調査立案致シタイト考ヘテ居リマス、ソレテ保險制度ト利用組合トノ關係ハドウナルダラウカト云フコトニ付テ、其處ニ一ツノ問題ガ提供サレル譯デアリマシテ、サウ云フ問題トシテ今後十分ニ考究ヲ致シテ行キタイト思ヒマス、今日迄ノ所醫療利用組合ニ付キマシテハ、農林省ト、內務省デハ衛生局ト、ソレカラ社會局ト、皆關係ヲ致シテ居リマス、是等ノ問題ニ付キマシテモ寄り寄り協議ヲ致シテ居リマシタ、注意スベ

○岡田委員 現在遞信省デ行ッテ居リマスル御承知ノ簡易保險局ノ健康相談所、此施設ト今度ノ醫療組合ト連絡ヲ保チ、若クハ統一ヲ圖ルト云フ意味ニ於キマシテ御注意ニ相成リマシテ、社會局當局ガ特ニ此間ニ於テ率先シテ何等カノ方法ヲ講ズルト云フコトモ、一ツノ適切ナル方法デヤナイカト思ヒマス、之ニ付テノ御意嚮モ伺ッテ置キタイト思ヒマス、尙ホ又最後ニ市部ニ於キマシテハ、御承知ノ通りニ實費診療所ノ如キ施設ガ段々トシテ普及致シツ、アル譯デアリマス、所ガ近來トモスレバ、是モ醫師當業者カラ申サバ、營業上ニ對スル打撃ガヒドイト云フ見地カラ、中々實際ニ於キマシテハ、實費診療所ニ對スル掣肘ト申シマスカ、制限論、掣肘論ト云フモノガ行ハレマシテ、容易ニ實費診療所ト云フモノガ、許可サルベクシテ許可サレナイト云フ傾向ニナッテ居ルト云フコトヲ見ルコトガ少クナイノデアリマス、トモスレバ斯様ナ社會

施設問題ト云フモノハ、其儘放置致シマスルト、時代ノ然ラシムル所、段々ト利害ノ相反スル所カラ、様々ノ之ニ對スル支障ヤ苦情ガ起リマシテ、事業ノ適正ナル發達ヲ阻害スルヤウナ虞ガ多アルノデアリマス、ドウシテモ其間ニ於テ、社會事業ト云フ見地カラシテ、社會局當局ガ、ドウシテモ斯ウ云フ問題ニハ萬遍ナク注意ヲ注イデ、サウシテ關係當局ト連絡ヲ保チ、打合ヲ遂ゲ、特ニ社會施設ノ見地カラシテ種々御要求ヲナサルト云フコトハ、極メテ私ハ肝要デハナカラウカト思ヒマス、現在ノ儘デアリマスルト云フト、例ヘバ衛生當局ハ、トモスレバ醫師ノ反對トカ、醫師ノ運動トカ云フモノニ牽制サレマシテ、ソレヤ是ヤノ事情ヲ酌量シ勝チノ結果ト致シマシテ、本來ノ目的タル社會事業ノ發達ト云フコトニ對シテ、必シモ最善ノ努力ヲ持チ、最善ノ擁護ニ相成ラヌト云フノガ、實際ノ傾向デアラウト思ヒマス、ソレダケニドウシテモ社會事業トシテノ十分ナ後援ヲ爲シ、社會事業ノ發達ヲ後援スル使命ヲ有ッタ當局ノ御奮發ヲ爲サルコトガ大ニアルダラウト私ハ思ヒマス、時勢ノ傾向ガ、段々各方面ニ以上ノヤウナ傾向ガアリマス以上、特ニ此點ニ付キマシテ、私ハ社會事業主管ノ當局ニ

向ッテ、特別ノ希望ヲ申上ゲテ置ク次第デア
リマス、大體私ノ質問ハ是デ以テ打切りマ
スガ、關係事項ニ付キマシテ尙ホ御答辯ヲ
御願致シタイト思ヒマス

○川西政府委員 昨日岡田委員カラ、今回
ノ改正案ニ對スル賛否ノ意思ヲ表示シタ者
ノ名前、又其意思ノ内容ト云フコトニ付テ
御尋ノアリマシタ際ニ、一通リ御答申上ゲ
マシタガ、其中ニ一ツ落シテ居リマシタノ
デアリマスカラ、甚ダ失禮デゴザイマスガ
一ツ補足サセテ戴キマス、ソレハ全國産業
團體聯合會ト云フノカラ、五人以上十人未
滿ノ小規模ノ工場ニ付テ、理由ハ昨日松尾
委員竝ニ岡田委員カラノ御質問ノ御言葉ノ
中ニアリマシタヤウナ理由デ、ソレ等ニ付
テハ利害得失ニ付テ相當慎重ニ考慮シテ貰
ヒタイ、斯ウ云フ意味ノ陳情ガアリマシタ、
同時ニ地方鐵道及ビ軌道ヲ強制加入ノ範圍
ニ入レヨウトスルコトニ付テハ、別段ニ異
存ハアリマセヌケレドモ、目下經營難デア
ルカラシテ、適用ニ付テ相當ノ猶豫期間ヲ
設ケルノガ適當ダト思フ、斯ウ云フ御意見
ガアリマシタ、之ヲ落シテ居リマシタ、ソ
レニ付キマシテ、此改正案ガ今議會ニ提出
サレマスル迄ニ社會局ニ於キマシテ、初ニ
社會局ノ參與會ト云フノニ相談ヲシテ、其

後ニ勞働保險調查會ニ御諮リヲシテ參ッ
譯デアリマス、丁度此參與會ニ於キマシテ
モ、ソレカラ勞働保險調查會ニ於キマシテ
モ、全國産業團體聯合會ニ深イ關係ヲ有
テ居ラレル有力ナ方モ御加ハリデアッタカ
ラ、自然斯ウ云フ意見モ其席ニ於テ述べラ
レタコトデアリマス、參與會竝ニ勞働保險
調查會ニ於テハ、昨日來今日ニ掛ケテ度々
御質問ニナリマシタ手續其他ノ點ニ付テ、
私共ハ當局トシテ御答申シマシタヤウニ
一説明ヲ申シマシタ所、參與會ニ於キマシ
テモ、勞働保險調查會ニ於キマシテモ、先
程申シマシタヤウナ相當有力ナ、又相當ノ
數ノ實業家方面ノ委員ガ御加ハリニナッ
テ居リマシタカラ、當局ノ説明ニ依ッテ一通リ
御諒解ヲ下サッテ、勞働保險調查會ニ於キマ
シテモ、異議ナク此案ガ可決サレマシタヤ
ウナ次第デアリマス、殊ニ此參與會ニ於キ
マシテハ、此十人未滿ノ小工場等ニ付テノ
案ハ甚ダ適切ダ、兎ニ角大キナ團體、大キ
ナ事業ト云フモノニ付テハ、其聲ガ團體ナ
リ組織ノ力ニ依ッテ世ノ中ニ發表サレ、又政
府ニモ懇ヘラレルケレドモ、十人未滿ト云
フ所ノ勞働狀態ニ在ル人ノ希望ト云フ風ナ
モノハ、中々耳ニ入りニクイモノデア
ル、斯ウ云フ風ナ所謂無聲ノ聲ヲ聞クト云フコ

トニ、社會局アタリハ十分注意ヲ拂ヘト
云フヤウナ御注意マデ受ケタヤウナ次第デ
アリマス、ソレカラ地方鐵道ノ軌道問題ニ
付キマシテ、今回ノ委員會ニ於テハ、特ニ
御質問等モゴザイマセヌデシタガ、斯ウ云
フ陳情ニ對シマシテ、私共ノ其當時説明シ、
且ツ今日考ヘテ居リマスコトハ、或ル事業
ノ經營狀態ノ善イ惡イト云フコトヲ標準ト
シテ、適用スルヤ否ヤト云フコトヲ決スル
モノト致シマス、有體ニ申シマス、現
在適用ヲ受ケツ、アル事業ノ中ニモ、或ハ
新ニ適用致サウトスルモノ、中ニモ、色々
除外ヲ必要トスルモノガアルト云フコトニ
ナラウ、實際問題トシテハ中々困難デア
ラウト思ヒマス、私設鐵道其他ノ事業ニ於キ
マシテモ、經營狀態ノ良好ナル時機ヲ待
テ是ガ適用ヲスルト云フコトモ、一ツノ方
法デアリマセウケレドモ、サウ云フ時機ニ
於キマシテモ、個々ノ事業ニ付テ具體的ニ
見マスレバ、ヤハリ同ジヤウナ問題ガ生ズ
ルト云フコトデ歸結スル所ガナカラウ、斯
ウ云フ點ニ付キマシテ、成程今日ノ場合ニ
於テ私設鐵道等ノ事業ガ經濟的ニ餘リ旨ク
行ッテハ居リマセヌ、又色々商工業等ノ負擔
ノ問題ニ付テ御説明申上ゲマシタヤウナ趣
旨デ、其人達ノ從業員ノ醫療ノ費用ニ當テ

ル外ニ持ッテ行ク費用デハナイノデアリマ
スカラ、幾分忍ンデ斯ウ云フ制度ヲヤハリ
立テサセテ貰ヒタイ、斯ウ云フ意味デ説明
ヲシテ、納得ヲ得マシタヤウナ譯デアリマ
ス、是ダケ補充的ニ申上ゲテ置キマス

○守屋委員長 午前ノ會議ハ此程度ニ止メ
マシテ、午後二時マデ休憩致シマス

午後零時一分休憩

午後二時二十七分開議

○守屋委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、此
際御諮リ致シマスガ、委員外ノ土屋清三郎
君カラ、十五分位ノ間健康保險法ニ付テ質
疑ヲ致シタイト云フ申出ガアリマスカラ、
御許シ致シタイト思ヒマスガ、御異議アリ
マセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○守屋委員長 ソレデハ御許シ致スコトニ
致シマス——土屋君

○土屋清三郎君 委員長ノ御許シヲ得マシ
テ、健康保險ニ關聯シテ御尋ネテ致シタイ
ト思ヒマス、是ハ衛生行政ノ主務省デア
ル内務省ニ關スルコトデ、本來大臣カラノ答
辯モ要スルモノト思ヒマスケレドモ、此場
合健康保險主管ノ社會局ノ方バカリデナ
ク、衛生局ノ方モ御出席ヲ願ヒタイノデア

リマス、委員長ニ於テ左様御取計ヲ願ヒマス、尙衛生局長ハ今日病氣デ出席出來ナイトカ云フコトデアリマス、他ニ局長ニ代ル方デアレバ宜シウゴザイマス

○守屋委員長 衛生局長ハ見エマセヌデ、醫務課長ガ見エルサウデスガ、社會局長官ニ御質問ハアリマセヌカ、アリマシタソレヲヤッテ戴キタイ

○土屋清三郎君 ソレデハ私ノ御尋シタイ第一ハ、政府ハ今度ノ健康保險法改正案デ、保險ノ範圍ヲ擴大サル、ヤウデアリマシガ、現在ノ所マダ僅カデアリマスケレドモ、將來ハ廣ク之ヲ擴大シテ庶民階級全般ニ及ボサウトスルノデアルカドウカ、若シサウ云フ御方針デアルト致シマスルト、日本ノ庶民階級ニ對スル醫療普及ヲ此健康保險ノ擴大ニ依ッテ實現サセヨウトスルノデアルカ、是ガ私ノ御尋致シタイ第一ノ點デアリマス、是ハ醫療普及ノ根本ニ關スルコトデアリマス

○丹羽政府委員 將來ノ健康保險擴張ニ付テ、庶民階級全體ニ之ヲ及ボサントスル考デアルカドウカト云フノガ御尋ノ趣旨ノヤウニ存ジマス、私共ノ今日考ヘテ居リマスル所ハ、御覽ノ通り極メテ小サナ工業勞働者ト云フ範圍ノモノヲ、強制被保險者ト致

サントシテ居ルヤウナ案デゴザイマス、併ナガラ今日ノ醫療ノ實際ノ狀態ヲ見マスト、色々不備ナ點ガアリマス、私共ノ所管ノ方面カラ申シマスト醫療ノ機關ノ充實ト云フコトハ、他ノ局ノ主管ニ相成ルヤウニ大體考ヘマス、私共ノ考ヘテ居リマスノハ、或ル醫療機關ヲ通シテ庶民階級ガ旨ク利用ガ出來ルヤウニ相成ルト云フ點ヲ主トシテ考究致シテ居リマス、詰リ病氣ニナッ

タ時ニ非常ニ庶民階級ハ困リ、困ッテ舉句貧困ノ非常ニ大キナ原因ニ此傷病ト云フモノガ相成ルヤウナ狀態ニナッテ居リマス、是ハ醫療機關ガ普及シテ居ラヌト云フコトデハナクシテ、醫療ヲ旨ク受ケラレナイト云フ點ヲ餘程考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテ、吾々ハ何トカ今日現ハレテ居リマスル健康保險ノ形態ト云フモノヲ考ヘルバカリデナク、或ハ之ニ類似シタ他ノ形態デモアリマスレバ、斯様ナ缺陷ハ補ッテ行ケルノデハナカラウカ、詰リ僅カナ掛

金ヲ致シマシテ、病氣ニナルト存在シテ居ル醫療機關ノ恩惠ニ浴スルコトガ出來ル、斯ウ云フコトハ考ヘ得ラレルシ、又相當ノ考究ヲシナケレバナライ問題デアル、斯様ニ考ヘマシタ、其見地カラ他ノ今日強制被保險ナリ、任意包括被保險ナリニシテ居

リマスル範圍以外ノモノニ對シマシテモ、十分保險制度ノ研究ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○土屋清三郎君 私ノ御尋致シマスルノハ、將來庶民階級ニ對スル醫療普及ヲ此健康保險ヲ中心トシテ行カウトスルノデアアルカドウカ、例ヘバ獨逸ノ如キハ、庶民階級殆ド全部ガ此健康保險ニ依ッテ醫療ヲ受ケテ居ル、サウ云フ風ニシテ行カウトスルノデアアルカドウカ、之ヲ私御尋致スノデアリマス、何故ト申シマスルト、御承知ノ通り、社會局デハ健康保險ニ依ッテ現在工場勞働者、鑛山勞働者、或ハ又今度ノヤウニ小サイ工場ノ勞働者ニモ之ヲ及ボサウ、段々之ヲ擴大スル意味デ調査ヲサレテ居ルト云フコトヲ承リマシタカラシテ、將來健康保險ノ普及ヲ以テ醫療普及ノ根幹トシテ行カウトスルノデアアルカドウカ、是ガ私ノ御尋シタイ點デアリマス、ト申シマスルノハ、社會局ノ方デハ健康保險デヤラウト云フ考デ調査ヲサレテ居ルト云フ反面ニ、農林省ノ方デハ産業組合ニ依ル所ノ醫療利用組合ト云フモノニ對シテ獎勵的ノ態度ヲ執リ、之

ニ依ッテ地方農村ノ醫療普及ノ目的ヲ達シヨウトスル意圖ヲ以テヤッテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ又遞信省ノ方ニ於テハ、簡易保險ノ關係カラ健康相談所ヲ設ケテ、サウシテ其處デ一部醫療ニ入り掛ッテ居ル、將來ハ是デアルヤウナ考デアアルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、一面又團體保險モ許ストカ、許サナイトカ云フコトヲヤッテ居リマスガ、ソレモ矢張醫療ニ關ハッテ行クヤウニ見エルノデアリマス、尙ホ又衛生局ノ方ニ於キマシテハ、市町村醫ノ普及ヲシテ、之ニ依ッテ醫療ヲ普及シヨウ、斯ウ云フ計畫デアラレルノデアリマス、ソコデ政府ノ庶民階級ニ對スル醫療普及ノ根本方針ハ何處ニアルカ、何ヲ根本ニシテ醫療普及ノ目的ヲ達シヨウトスルノカ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、ソコデ此健康保險ノ所管ノ長官デアアル社會局長官トシテハ、ドウ云フ考ヲ有ッテ居ルカ、政府ノ方針トシテ御尋ヲ致スノデアリマス

○丹羽政府委員 只今土屋君ノ御尋ハ、或ハ衛生局デハ市町村ノ公醫ト云フモノヲ普及サセヨウト考ヘ、又遞信省デハ健康相談所ト云フヤウナモノヲ考ヘ、又農林省デハ醫療利用組合ノ如キモノヲ獎勵シテ居ル、ソレ等ノ關係ガアルニ拘ラズ、社會局ハ更ニ健康保險制度ノ擴張ヲ考ヘテ居ルガ、是等ノ總テニ對スル政府ノ醫療制度ノ根本方針ハドウデアアルカ、斯ウ云フ御尋デア

ルヤ

ウニ思ヒマス、是ハ私ノ所管ノ關係カラ御答スルノ外ハナイト思ヒマスガ、是等ノ機關ト云フモノハ、ソレノ長所ヲ持テ居ルト思ヒマス、ソレデ此關係ニ於キマシテハ、關係シテ居ル各省ガ十分協議ヲ遂ゲテ國民、殊ニ庶民大衆ガ醫療ノ恩惠ヲ受ケレル所ノ適切ナル方途ヲ講ズルト云フコトニ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、唯、健康保險自體ガ今日ノ所ハ醫者ヲ増ストカ、醫者ヲ普及サセヨウトカ云フコトヲ主ニシテ考ヘテ居ルノデハゴザイマセヌノデ、既ニ醫師ガ相當普及セラレテ居ル、其醫師ト庶民トノ連絡ヲドウ云フ風ニ附ケルカト云フ點ニ主トシテ著眼ヲ致シテ居リマシテ、健康保險制度ノ如キモノヲ更ニ擴大致ス必要ガアルノデハナイカ、併シサラバト云ツテ、總テノ他ノ方途ヲ排斥致スヤウナ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマセヌ、是等ノ間ニハ十分協議ヲ遂ゲマシテ、其長所ノアル所ニ從ッテ最善ノ效果ヲ擧ゲタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○土屋清三郎君 私ハ先達豫算總會ニ於テ内務大臣ニ對シテ此衛生、醫療ニ關スル國策ヲ決定スル爲ニ、政府ハ速ニ適當ナル調査會ヲ設ケテ調査スルヨウニト云フコトヲ進言致シテ置キマシタガ、只今社會局長官

ノ御話ヲ承リマスト云フト、社會局長官ト致シマシテモ、成ベク關係ノアル各省ト協議シテ見タイト云フコトデアリマシテ、至極私ハ結構ナ事ト存ジマスガ、社會局自體トシテ、サウ云フ事ニ付テ從來何カ御調査ニナッテ居ルコトガアリマセウカ、例ヘバ亞米利加合衆國アタリデハ五箇年計畫ヲ以テ各方面ノ人ヲ集メテ醫療普及ニ關スル調査會ヲ設ケテ、何百萬圓ト云フ多額ナ經費ヲ使ッテ之ヲ調査シツ、アルト云フコトデアリマスガ、社會局自體トシテ何カ御調査ニナッテ居ル事ガアリマスカ

○丹羽政府委員 社會局トシテハ主トシテ此健康保險、疾病保險ノ如キ保險制度ニ付テ頻リト研究ヲ致シ居ル譯デアリマス、ソレデ今醫療ニ關スル國策ヲ樹立スルノ必要ガアルノデハナイカト云フ御話デアリマシテ、御趣意ハ御尤デアルト思ヒマス、吾々ハ仕事ノ上ニ於キマシテハ、關係各省ト常ニ今日迄モ出來ル限りノ協議ヲ致シテ居リマス、社會局デハ御承知ノ通り、社會局參與ト云フモノガゴザイマシテ、種々ノ方面カラ、關係各省、或ハ民間ノ方モ之ニ入ッテ居ラレマスガ、サウ云フヤウナ者ガ時々集ッテ、色々意見ヲ徴シ、又相談ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又具體ノ事柄ヲ

決メマス場合ニハ、更ニ勞働保險調査會ノ如キモノニ諮リマス、ソレ等ノ方法ニ依リマシテ衆智ヲ集メ、萬全ノ策ヲ講ズルト云フヤウナ方途ヲ講ジテ居ルヤウナ次第デアリマス

○土屋清三郎君 今度ハ社會局内部ノ事デアリマスガ、社會局ノ仕事ニハ醫療ニ關スルモノガ相當ニアリマス、所ガ健康保險ノ醫療ハ保險部デ扱ヒ、ソレカラ救護法ニ關スル醫療ハ社會部ノ内デ扱ヒ、ソレカラ工場、礦山衛生ニ關スル事ハ勞働部デヤッテ居ルト云フコトデアリマスガ、是ハ寧ろ社會局内ニ於テモ一ツ組織ヲ改メテ、醫療部ト云フモノデモ拵ヘテ、此處デーツ統一スル方針ヲ採ラレタ方ガ宜クハナイカト思ヒマスガ、左様ナ御考ハアリマセヌデスカ

○丹羽政府委員 御話ノ如ク社會局ノ醫療關係ノ行政事務ハ、保險部ハ勿論、救護法關係ニ於キマシテハ、其關係部局、又勞働者ノ災害ニ關シマスル事項ニ付テハ勞働部デ關係ヲ致シテ居リマス、併ナガラ是ハ色々此總テノ事務ヲドウ云フ觀點カラ分ケテ宜イカト云フコトハ、餘程考ヘナケレバナリマセヌ事柄デアリマス、殊ニ此救護法、或ハ勞働者災害扶助法ノ關係ノ如キニ於キマシテハ、醫療行為自體ハ、是ハ醫師ニ掛

テ、其醫療行為ノ監督等ノ關係ハ固ヨリ其方ノ衛生局ノ所管ニ致シテ居ル譯デアリマス、コチラハサウ云フ場合ノ扶助ヲスル場合、或ハ救護ヲ致ス場合ニ、金ノ無イ者ニ金ヲ拂フト云フ關係ガ社會局ノ關係ニナッテ居ルヤウナ次第デアリマス、詰リ救助、或ハ勞働者ガ業務上ノ災害ニ罹ッタ時ニ、ソレヲ醫者ニ掛ケナケレバナラヌト云フコトニシテ置キマシテ、醫者ニ掛ッタ場合ニ其扶助ヲドウスルカト云フ其扶助責任ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ勞働部デ致シテ居ル、斯ウ云フヤウナ工合ニ各主ナ其醫療ヲ致シマス仕事ノ根本ノ精神、根本ノ事務ノ性質ニ依ッテハ今日ハ分レテ居ルノデアリマス、隨テ醫療行為自體ニ付テハ、固ヨリ衛生局ガ之ヲ主管ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、唯社會局内ニ於キマシテモ右様ニ各部ニ勞働者、或ハ被救護者ノ醫療關係ノ事務ガアリマスノデ、是等ニ付キマシテハ常ニ十分ナル打合ヲ致シテ居リマス、内輪ノ事デアリマスカラ何カ一ツ決メマスニ付キマシテモ、皆相談ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、其關係ニ於テハ遺憾ナクヤッテ居ルト考ヘテ居リマス

○土屋清三郎君 丁度衛生局ノ御方が見エマシタカラ、是ハ社會局ノ御方ト兩方カラ

御答辯ヲ願ヒタイと思ヒマス、此健康保險ノ委員會ニ於テ只今マデ幾人カノ委員ノ方カラ、ソレハ御質問ガアッタト承リマシマス、醫藥分業ニ關スル事デアリマス、此問題ハ此議會トシテモ隨分永イ歴史ヲ持ッテ居ル問題デアリマスガ、健康保險實施ニ當リマシテモ、醫師會ト藥劑師會トノ間ニ此問題ガアリマスル爲ニ、屢面白クナイ現象ヲ呈スル、健康保險ノ主管デアアル社會局ニ於キマシテモ、此點ハ色々御困リデアラレル、ソコデ私ハ之ヲ此儘ニ矢張續ケテ行ッテ、政府ハ醫藥分業ニ付テハ目下調査中デアルト云フヤウナコトデハイケマイト思フ、醫藥分業ニ對スル政府ノ方針ハ、醫藥分業ハ法律ヲ以テ強制スベキモノデナイト云フ、ソコニ一貫シタ方針ガ既ニ決ッテ居ル、併シ一方醫師ト云フ病氣ヲ治療スル事ヲ本業トスル者アリ、藥劑師ト云フ調劑ヲ本業トスル者ガアリマスル以上ハ、此儘ニシテ屢相對抗的ニ爭ッテ行クト云フコトヲ政府トシテ見テ居ルコトハ宜クナイ、醫者ガ非常ニ多過ギテ、而モ貧シクシテ醫療ヲ受ケルコトガ出來ナイ者ガ澤山アル、藥劑師ガ愈々多ク出來テ來テ、藥劑師ハ食フニ困リ、醫者トナッテモ食フニ困ッテ、サウシテ又世ノ中ニハ藥ヲ買フコトガ出來ナイ者

ガアル、是ハ畢竟スルニ醫師及藥劑師ニナッタ者ノ取締ハ内務省デヤッテ居リ、之ヲ拵ヘル方ハ文部省デヤッテ居ル關係カラデアラウト思フ、文部省ハ醫學校ヲ幾ツモドシム造ル、藥劑師ヲ養成スル藥學校ヲ幾ツモ造ル、無制限ニ需要ヲ考ヘナイデ造ッテ居リマスカラ、醫者ハ醫者同志ノ間ニ生活ニ困リ、藥劑師ハ藥劑師同志ノ間ニ生活ニ困ル、其結果ガ醫者ト藥劑師ノ間ニ苛烈ナ分業ノ爭ガ起リ、ソレガ延イテ健康保險ノ方マデモ及ボスモノデアラウト私ハ思フ、醫藥分業ヲ本當ニヤラウトスルナラバ、醫藥分業ヲ行ッテ居ル獨逸、其他ノ例ニ見マシテモ、藥劑師ヲ思切ッテ制限シナケレバイカヌ、藥劑師ヲウント制限シ、藥局ヲウント制限シテ、サウシテ藥品ノ監督ガ十分ニ出來ナケレバ、醫藥分業ハ結局出來ナイ、是ハ先般亡クナリマシタ日本藥劑師會ノ會長デアリ、又藥學界ノ重要ナル人物デアリマシタ池田慶三博士ハ、始終此意味ヲ以テ醫藥分業ヲヤラウト云フナラ、藥劑師ヲ制限シテ行カナケレバナラヌ、藥局ヲ制限シテ行カナケレバナラヌ、サウシテ藥品巡視官ガ其藥局ヲ十分ニ監督出來ルヤウニシナケレバイカヌ、所ガ今日ハ警視廳管内ニ於テスラモ藥局ノ數ガ恐ラク四千

位アリマセウ、其上ニ藥種商ト云フモノハ矢張同ジ位カ、或ハモットアル、是デハ藥品ノ取締ハ出來ナイ、ソコデ政府ハ此醫藥分業ニ對シテハ、目下研究中デアアルナント云フコトデナクシテ、此醫者ノ制度ヲドウシテ行クノデアアルカ、藥劑師ノ制度ヲドウシテ行クノデアアルカ、サウシテ長イ間ノ懸案デアアル所ノ醫藥分業ノ此爭ヲ緩和シテ、醫師ト藥劑師、醫師會ト藥劑師會トガ兄弟トシテ手ヲ繋イデ、國民衛生保健ノ爲ニ十分ナ活動ノ出來ルヤウニスルコトガ、是ガ政府ノ第一ニ執ラナケレバナラヌ方針デアラウト思フ、是ガ政府ノ態度デナケレバナラヌ、所ガサウデナクシテ、成ベク觸ラナイデ、醫者モ出來放題、藥劑師モ出來放題、分業問題ガヤカマシクナレバ目下調査中ト云フノデ、其日暮シデ濟マシテ行クト云フコトハ、私ハ宜シクナイと思フノデアリマス、此點ニ付テ政府ノ御考ハドウデアリマス、先ヅ衛生局ノ御考ハドウデアアルカ、ソレカラ社會局ノ御考ハドウデアアルカ、雙方カラ一ツ御答辯ヲ願ヒタイと思ヒマス

○守屋委員長 御諮リ致シマスガ、衛生局長ハ病氣デ見エマセムカラ、説明員トシテ白松内務書記官カラ御答致スコトニ致シマス

○白松内務書記官 私カラ一應御答申上ゲテ置キマス、醫藥分業問題ニ付キマシテハ、是ハ多年ノ懸案デアリマスガ、昨年改正ノアリマシタ醫師法ノ改正ニ伴ヒマシテ、醫藥分業ハ患者本位ノ任意分業ニスルノガ最モ宜イノデアルト考ヘマシテ、其趣旨ノコトヲ施行規則ノ中ニ入レテ居リマス、隨ヒマシテ今私共ノ考ヘテ居ル分業觀ト云フモノハ、患者本位ノ任意分業ト云フコトデ、今一應方針ハ決定シテ居ル譯デアリマス、此方針ハ當分繼續サレルモノト考ヘラルノデアリマス、諸君醫者ト藥劑師トノ間ノ業務上ノ調和ト申シマスコトハ、日本ノ醫者ノ制度ハ外國ト違ッテ居リマシテ、藥モ醫者ガヤルノガ原則デアアル、サウ云フヤウナ現狀ニナッテ居リマス國ハ、外國ノ藥劑師制度ヲ輸入シテ、日本ノ藥劑師ト云フモノヲ認メタノデアリマスカラ、ソコニ實際問題トシテドウモ不調和ガアリ、無理ヲ生ズルト云フコトガアルノハ是ハ免レ難イ、私達若シ其調和ガ出來ルトシマスレバ最モ宜イト考ヘマスガ、假ニ藥局ヲ制限スルトカ、藥劑師ノ數ヲ減ラシ、醫者ノ數ヲ減ラシタカラト云ッテ、ソレニ依ッテ其不調和ノ問題ガ直チニ解決スルモノトハ考ヘラレナイノデアリマス、隨テ私達トシテハ此

際藥劑師ノ數ガ多イカ、醫者ノ數ガ多イカト云フコトハ別問題ト致シマシテ、醫者ト藥劑師トノ間ノ業務上ノ調和ヲ圖ラシムル意味ニ於テ、醫師ノ數、藥劑師ノ數ヲ制限セシムル意思ハアリマセヌ

○丹羽政府委員 醫藥分業關係ノ點デ、健康保險制度ノ方面ヨリ見マシタ點ヲ御答致シマスルガ、申ス迄モナク是ハ他ノ委員ノ御質問ニモ御答致シタノデアリマスルガ、

今日ノ我國ノ醫療狀態、殊ニ開業醫ノ制度ノ如キモノガ存在シテ居リマス、又隨テ國民一般ノ被保險者ノ考ト云フモノガ、何ヲ便利ト考ヘテ居ルカト言ヒマス、今日ノ制度ヲ大體ニ於テ承認シ、之ニ依ッテ醫療ヲ受ケテ居ルト云フ狀態ニアルノデアリマス、隨テ一般ノ醫藥制度ト同様ニ、健康保險ニ於キマシテハ同ジ制度ヲ執ッテ行クノ外ハ今日ノ所ナイト云フ考デ進ンデ來テ居リマス、唯併ナガラ醫藥分業ト云フコトニ付キマシテ、將來モ何等研究ヲシナイト云フ譯ニハ參ラヌノデアリマス、ソレデ今後此保險制度ヲ十分ニ働カシテ、吾々ハ被保險者ニ利益ノアルヤウナコトヲ考ヘナケレバイケナイ、ソレデ私共ハ現在ノ制度ノ儘デナク、現在ノ制度ニ段々改善ヲ加ヘテ行クト云フコトヲ、固ヨリ宜イト考ヘテ居ル

ノデアリマス、併ナガラ其考ヘマスル途ニ於キマシテ色々ノ意見、色々ノ事柄ヲモ參考ニ致シテ考ヘルト云フコトハ、是ハ當然吾々ノ義務デアルト考ヘテ居リマス、隨テソレ等ノ問題ヲ廣ク今後モ考究ハ致シテ行ク考ヲ持ッテ居リマス

○土屋清三郎君 只今白松醫務課長ノ日本ノ古來カラノ醫療制度、即チ醫者ハ診察ヲシテ手術、投藥總テヤル、偶、外國カラ藥劑師ノ制度ヲ輸入シタ爲ニ分業問題ガ起ッテ來タ、政府トシテハ患者本位デ、患者ノ自由ニ委スト云フコトハ、私共ノ全ク同感トスル所デアッデ、即チ政府ハ醫藥分業ハ法律ヲ以テ強制シナイト云フ、此方針ニハ私ハ全然同感デアリマス、唯ソレニ致シマシテモ、

醫師ト藥劑師トノ間ニ、サウ云フ爭ガ長イ間續イテ居リ、又近年ハ醫者ガ多過ギテ、醫者ノ間ニモ生活上ノ色々ナ競争ガ起リ、藥劑師ハ殊ニ多過ギテ、藥劑師間ニ生活上ノ競争ガ起ル、是ハ決シテ公衆ノ爲ニ喜バシイコトデナイ、當業者ノ爲ニ喜バシイコトデナイノミナラズ、公衆ノ爲ニモ、當業者間ノ苛烈ナ生活上ノ競争ト云フモノハ、良イ結果ヲ及ボサナイ、現ニ司法省ニ於テハ、辯護士ヲ採用致シマスニハ、相當ノ統制、調節ヲシテ居ルヤウニ私ハ聞イテ居リマ

ス、偶、醫者ノ育成ガ——醫師及藥劑師ノ養成ガ、文部省ノ管内ニアリマス爲ニ、文部省ハ唯餘計作りサヘスレバ宜イト思ッテ作ッテ居ル、内務省ハ其出來上ッタモノヲ取締ルダケニナッテ居ル爲ニ、數ガ無暗ニ殖エテ、其結果ガ面白クナイ、私ハ屢、機會アル毎ニ申シテ居ルノデアリマスガ、文部省ト内務省ハ此點ニ付テ、今マデ何カ御協議ニナツタコトガアリマスガ、内務省トシテハ、

全然サウ云フ必要ハナイト御考デアリマスカ、現狀ヲ放任シテ、文部省デ作り放題ニ抛ッテ置カウト云フノデアリマスカ、若シ從來何カ内務省ト文部省トノ間ニ御交渉ニナツタコトガアレバ、其内容ヲ承リタイ、ナイトスレバ、今後サウ云フコトハ必要ダト思ヒマスケレドモ、御考ハ如何デゴザイマセウカ

○白松内務書記官 藥劑師ノ數ノ増加ガ近年多クナッテ、早晚藥劑師過剩狀態ニナルノ

デハナйкаト云フコトハ、私達モ考ヘテ居リマス、唯現在ノ情勢ダケカラ言ッデ、都會地ニハ非常ニ多イノデスガ、地方ニ行キマスト、藥劑師ノ居ラナイ處モ相當アリマシ、日本ノ國全體カラ言ッデ、果シテ多イカドウカト云フコトハ、是ハ相當問題ダラウト思ヒマスルガ、將來ニ於テ過剩狀態ニナ

リハセヌカト云フコトハ、私達モ常ニ考ヘテ居リマス、之ニ付テ、昨年醫師法改正ヲ致シマス際ニ、文部省ト其序ニ打合ヲ致シマシタノハ、將來文部大臣ガ藥學專門學校ヲ指定スルヤウナ場合ニハ内務大臣ニ協議ヲスル、サウ云フコトヲ打合ラシタノデアリマス、官立ノ藥學專門學校ハ、是ハマダ文部省ト何等打合ラシテ居リマセヌガ、文部省ハ專門學校ハ造ル意思ハナイヤウニ言ッテ居リマス、唯大學ノ中ニ、例ヘバ大阪ノ帝大ノ中ニ藥學科ヲ設ケテ貫ヒタイト云フヤウナ要求ハ、大阪ノ民間業者ノ方ニモ相當アリマス、斯ウ云フ問題ハドウナルカ私達ハ聞イテ居リマセヌガ、少クモ專門學校ハ文部省ハモウ造ラスト云フヤウニ聞イテ居リマス、私立ノ藥學專門學校ガ出來テ、ソレニ藥劑師ノ資格ヲ與ヘル爲ニ、文部大臣ガ指定ヲスルコトハ、是ハ内務省ノ方ニ相談スル、サウ云フコトニ打合ラシテ居ルノデアリマス

○土屋清三郎君 只今ノ御答辯ニ關聯シテ、是ハ委員長ニ御願スル方ガ便宜デアルト思ヒマスガ、今ノ醫學校及藥學校、之ヲ許可スルニ際シテ、從來文部省ダケデ單獨ニヤッテ居リマス爲ニ、サウ云フコトニナルト思ヒマス、此事ニ付テハ昨年デアリマシ

タカ、醫師法改正ノ際ニ、今後文部省ハ醫學專門學校ヲ許可スルニ當テハ、——法律

改正ノ際ニ雙方ノ間ニ話ガ出來タ爲ニ、法律ヲ改正セズニヤッタト云フコトデアリマスガ、其後聞ク所ニ依リマス、朝鮮ニ於

テ二ツノ專門學校ヲ認可スルニ當テ、文部省ノ方デハ内務省ニ何ノ打合モナクシテ、スポーツ許シテシマッタト云フコトデアリマス、斯ウ云フコトガ將來モ起リマスルト、

今醫務課長カラサウ云フ御話ヲ承リマシタ以上ハ、若シ此委員會ニ文部省ノ政府委員ガ出ル機會ガアリマスレバ、併セテ私伺ヒ

○守屋委員長

御答シマスガ、此法律案ノ

委員會ハ、健康保險ニ主トシテ關係シテ居ルコトデアリマシテ、只今ノ御意見ダト、文部省ノ教育方針ニ關スルコトノヤウデスカラ、委員會トシテハ權限ガソコマデ行キ

會ガゴザイマシタラ、質問シテ戴クコトニ致シマシテ、此程度デ打切りヲ願ヒタイト

○土屋清三郎君

ソレデハ此趣旨ヲ委員長

カラ適當ナ方法ニ依ッテ文部省ノ方ニ御傳ヘ置キヲ願ヒマス、委員外デ長時間貴重ナル時間ヲ拜借シマシタコトヲ此處デ感謝致

○守屋委員長

承知シマシタ

○清水委員

只今ノ土屋君ノ質問ニ關聯致

シマシテ、丁度衛生局ノ政府委員ガ來テ居リマスカラ、御聞キシタイト思ヒマスガ、御許シヲ願ヒマス

○守屋委員長

清水君

○清水委員

只今質疑應答ノ中ニ於キマシ

テ、醫師法ノ改正ノ時ニ於ケル患者本位ノ任意分業ニ決メタト云フ御話デアリマス、任意分業ニ決メマシタガ、併シ事實ニ於キ

マスルト、中々醫者ガ處方箋ヲ發行致シマセヌ、其處方箋發行ノ一番問題ニナリマス

ルノハ、處方箋料ヲ取ッテ居ルコトデス、是ハ診療料以外ニ處方箋料ヲ取ッテ居リマス結果、患者カラ申シマスト非常ニ負擔ガ多クナル、處方箋ヲ要求シタイト思ウテモ要求出來ナイ、處方箋ノ發行ヲ拒ムコトハ出

マスルシ、又醫師法ニモアルト私見テ居リマス、併シ之ニ付テ何等拒ンダ場合ニ於ケル罰則ガナイノデアリマス、殊ニ處方箋料ヲ取ルト云フコトガ、任意分業タラシムル

一番弊害ヲ爲シテ居リマス、社會局ノ意見ハ先日私色々承リマシタガ、衛生局トシマシテハ、一般醫師法ニ對シマシテ、處方箋料ニ付テ之ヲ廢止スル考ハナイカ、又醫者

ガ處方箋ノ發行ヲ拒ンダ場合ニ於ケル罰則ヲ設ケル考ハナイカ、是等ノ點ヲ衛生局ノ

政府委員ニ御伺致シマス

○白松内務書記官

外國ナンカノ例ヲ見マ

スルト、處方箋ヲ出スコトハ、診療ノ一部トシテ、隨テ診療料ヲ取ツタ其中ニ處方箋料ト云フモノモ含マレテ居ルノガ多クノ例

デアリマス、理論的カラ申シマスト私達ハソレガ正當デアラウト思ヒマス、唯併ナガ

ラ醫者ガ處方箋料ヲ我國ニ於テ取ルト云フコトハ、長年ノ習慣デアリマスルシ、此習

慣ヲ一片ノ法令ヲ以テ變ヘルト云フコトハドウカト云フ者ガアリマスルカラシテ、此際處方箋料ヲ全部撤廢セヨト云フコトヲ醫師ニ對シテ命ズルヤウナ規定ヲ設ケル考ハアリマセヌ、併ナガラ其處方箋料ガ割合ニ

リマシタナラバ、處方箋料ハ成ベク低クスルト云フコトニ付テ、醫師會ノ方ニ然ルベク話ヲスル意思ハアリマス、ソレカラ處方

箋ヲ拒ンダ場合ニ罰則ハナイガ、其罰則ヲ設ケル意思ガアルカナイカト云フ御尋デアリマスガ、醫者ト患者トノ間ハ餘リヤカマ

シイ權利、義務ノ關係デ行クベキモノデハナクシテ、相互信賴關係、即チ醫者ハ患者

ヲ信賴シ、患者ハ醫者ヲ信賴シテ御互ニ和カナ氣持デ、處方箋ノ必要ナ場合ニハ患者

ハ之ヲ要求シ、醫者モ喜ンデヤルト云フヤウニスルノガ私達最モ醫療制度ノ美點デハ

ナイカト思ッテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ今度ノ施行規則ニ於キマシテハ、罰則ハ

態ト設ケナカッタノデアリマスガ、若シ將來醫者ガ本來ノ醫業ノ本質ヲ没却シマシテ、

罰則ノナイノニ乘ジテ理由ナクシテ處方箋ヲ交付シナイト云フヤウナ事實ガアリマシタナラバ、其際ニハソレノ對策ヲ考究スル積リデアリマス

○清水委員

今一ツ御伺致シマス、今ノ政

府委員ノ答辯デ大體分リマシタ、併シ事實ニ於テ處方箋ヲ發行致シマセヌ、是ハ多クノ例ガ示シテ居リマス、併シソレハ議論ニナリマスカラ、私ハ茲ニ申上ゲマセヌガ、午前中ニ八木委員カラ質問ガアリマシタ、其

質問ノ中ニ藥劑師ト云フモノハ、調藥ヨリ

ハ寧ロ製藥ヲヤレバ宜シイ、或ル意味ニ於テハ、調藥ノ必要ハナイト云フ位ノ、隨分過激ナ意見ガアリマシタ、併シ藥劑師法ノ

第一條ヲ見マスルト「藥劑師トハ醫師、齒科

醫師又ハ獸醫ノ處方箋ニ依リ調劑ヲ爲ス者

ヲ謂フ」所謂調劑ト云フモノガ藥劑師ノ一

番根本デアリマス、其別項ニ於テ藥劑師ハ

藥品ノ製造及販賣ヲ爲スコトヲ得トゾル、

寧ロ是ハ從デアル、調劑ト云フコトガ藥劑

師ノ一番根本デアル、ソレヲ製藥スレバ宜

シイ、調劑ト云フコトハ主デナイト云フ風

ナ御議論ガアリマシタガ、内務省ノ政府委

員ト致シテ、矢張藥劑師ナルモノハ調劑ガ

主デアルカ、製劑ガ主デアルカ、調劑ト云

フコトヲ無視シテ居ルヤ否ヤト云フ點ニ付

テ、明ナ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○白松内務書記官 藥劑師ノ職能ニ付キマ

シテハ、今御述ニナリマシタ藥劑師法第一

條ニ於キマシテ、藥劑師ハ醫者ノ處方箋ニ

依ッテ調劑スルモノデアル、サウ云フ規定

ガアリマス以上ハ、藥劑師本來ノ趣旨ガ調

劑行爲ニアルト云フコトハ疑ナキ所デアル

ト考ヘマス、唯事實問題トシテ我國ニ於キ

マシテハ、醫藥分業ノ制度ガナイ、患者モ

ナイヤウニ思フト云フヤウナ慣習モアリマ

スノデ、實際問題トシテハ調劑ヨリモ寧ロ

製藥トカ或ハ藥品ノ販賣トカ、サウ云フコ

トヲヤッテ居ル藥劑師ノ方ガ多イノデハナ

イカト考ヘラレマスガ、法制ノ建前カラ言

ヒマスレバ、調劑ガ第一ノ職能デアルコト

ハ疑ナイ所デアリマス

○清水委員 調劑ト云フコトガ藥劑師ノ生

命デアリマスナラバ、ヤハリ醫藥分業ニシ

ナケレバ此意味ハ徹底致シマセヌ、醫藥分

業ノ是非ニ付テハ、一昨日來大分玆ニ議論

ガアリマシタカラ私ハ申シマセヌ、兎ニ角

醫藥分業ト云フ問題ニ付テハ、衛生當局ト

致シマシテ、十分御研究願ヒタイト思ヒマ

ス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○守屋委員長 御諮リ致シマス、癡兵院法

關係デ陸海軍當局ノ方ガオ見エニナッテ居

リマスカラ、短イ時間ナラ委員外ノ河野君

ニ健康保險法ノ問題デ質問ヲ許シタイト思

ヒマスガ如何デスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○守屋委員長 ソレデハドウゾ……

○河野一郎君 極ク簡單ニ政府當局ノ御辯

明ヲ得レバ足リルト思ヒマス、醫療組合ノ

醫師ヲ健康保險法ノ醫師トシテ御認ニナル

カドウカト云フ一點ヲ御確メスレバ宜シイ

ノデアリマス、之ヲ伺フ所以ノモノハ、健

康保險ノ醫師ヲ大日本醫師會ノ方ニ御任セ

ニナル關係上從來地方ニ於キマシテ健康保

險ノ方ノ醫師デアッタ者ヲ醫療組合ノ醫師

ニ或ル組合デ致シマシタ所、其健康保險ノ

醫師タル資格ヲ剝奪シタト云フ例ガアリマ

ス、其爲メ非常ニ醫療組合ガ壓迫ヲ受ケ、

農村方面デハ甚ダ不便ヲ感ズルト云フ實情

ニアリマスノデ、ソレニ對スル御意見ヲ承

リタイ

○丹羽政府委員 當局ト致シマシテハ醫療

組合ノ醫師ヲ保險醫ニ指定セナイト云フ考

ハ有ッテ居リマセヌ、現ニ醫療組合ノ所屬醫

師ニシテ保險醫トナッテ居ル者モゴザイマ

ス、左様ナ譯デ醫療組合ノ醫師デアルカラ

保險醫ニ指定セナイト云フ方針ハ有ッテ居

リマセヌ

○河野一郎君 此實例ガ二三アリマスノ

デ、強ヒテ質問ヲ致スノデアリマス、今ノ

ヤウナラマダシモ、今後ハ範圍ヲ擴大シマ

スノデ、サウ云フ場合ガアリマスト地方デ

不便ヲ致シマスカラ、若シサウ云フ場合ガ

アリマシタナラバ、遲滞ナク當局ノ方ヘ醫

療組合ノ方カラサウ云フ問題ヲ持出シテ參

照シタイ、斯ウ云フ希望ヲ申上ゲテ私ハ質

問ヲ打切りマス

○守屋委員長 佐保君

致シマシテ、何カ御所見ガアレバ伺ヒタ

イ、若シナケレバソレデ宜シウゴザイマ

ス

○丹羽政府委員 只今ノ御尋ニ付キマシテ

ハ當局トシテ初メニ申上ゲマシタ通りノ考

デ居リマス、唯地方ニ於キマシテ、色々具

體的ナ紛争ガアッタ場合ニ、直チニ當局ガ處

理致スト云フコトハ出來ニクイ場合ガアリ

マス、是ハ行政ノ實際上已ムヲ得ヌ所ダト

思ヒマス、方針トシテハ先程申上ゲタ通り

デアリマス

○河野一郎君 今迄ノヤウナ法律ノ改正前

ハサシタルコトモナカッタノデアリマスガ、

十人ガ五人ニ適用ガ變ルヤウニナリマスレ

バ、醫療組合ノ利用ガ少クナッテ、若シ醫療

組合ノ醫師ガ此保險醫タル資格ヲ剝奪サレ

テ、地方ノ醫師會ト醫療組合トノ關係ガ段

段惡クナルコトハ今更申上ゲルマデモナイ

ヤウナ次第デアリマシテ、其爲ニ地方ノ醫

師會ガ之ヲ壓迫致シマス關係カラ、醫療組

合ノ醫師ヲ保險醫ニシナイト云フヤウナコ

トガ能クアルノデアリマスカラ、殊ニ行政

ノ立場カラサウ云フ紛争ハ進ンデ解決シテ

戴キタイ、斯ウ云フ希望ヲ申上ゲテ私ハ質

問ヲ打切りマス

○守屋委員長 佐保君

第六類第十三號

健康保險法中改正法律案外一件委員會議錄

第四回

昭和九年二月二十二日

一五

○佐保委員 先程政府委員ニ御伺致シマシ

タガ、遺憾ナガラ私ノ御尋シタ點ガ明瞭シ
ナカッタノデアリマス、全國的ニ癩病院ニ入
院スル資格ノ者ガ三項症以上ガ二千四百八
十八人、四項症乃至六項症マデノ者ガ一萬
二千九百九十六人、其合計ガ一萬五千四百
八十四人デアリマスガ、斯ノ如クニ多數ノ
傷兵、即チ入院資格ヲ有スル傷兵ガ多イノ
ニ對シテ、僅ニ百名ノ收容ヲ以テ目的トシ
テ、五十萬圓ノ政府補助ト云フモノハ、一
面カラ言ヘバ吾々ハ慊ラヌ、尙ホ之ニ對シ
テ多數ノ傷兵ヲ收容スルヤウニ將來擴張ス
ル御意嚮ガアルヤ否ヤ、其點ヲ第一ニ御尋
致シタイト思ヒマス、ソレカラ此傷兵ガ、
全國デ一萬二千四百數十名アリマスガ、東
京ニ之ヲ建テルト假定致シマスレバ、東京
竝ニ其附近ノ人ハ恩惠ニ浴スルデアリマセ
ウガ、地方ノ者ハ其恩惠ニ浴スルコトハ洵
ニ少イト考ヘマス、隨テ全國的ニ是ガ恩惠
ニ浴スルヤウナ方法ヲ執ル必要ハナイカ、
是ガ第二點、モウ一ツハ五十萬圓デ僅ニ二
百人ノ收容ヲ爲サルトスレバ、一人當リ五
千圓、ソレニ經常費ヲ加ヘルナラバ六千圓
以上一人當リ經費ガ掛リハシナイカ、斯様
ニ多大ノ經費ヲ御使ヒニナルヨリモ、寧ロ
全國的ニ傷兵ニ向ッテ之ヲ分配スル、或ハ

其利子ヲ以テ其治療方法ヲ爲サッタラドウ
カ、或ハ傷兵ノ中ニモ貧富ノ差ガアッテ、特
別救護モアラウシ、色々ナ救護方法モアリ
マセウガ、兎ニ角孤獨ナ者デナイ限りハ、此
東京ノ涯マデモ全國津々浦々カラ傷兵ガ入
院スルヤウナコトハ洵ニ氣ノ毒デアリマ
ス、寧ロ其恩惠ニ浴スルノハ東京竝ニ其附
近ノ人々ノミガ受ケル、斯ウ云フ結果ニ陷
リハシナイカト考ヘマスカラ、其經費ヲ以
テ救護救濟ノ方法ヲ講ズル、或ハモウ少シ
餘計ニ五十萬圓ヲ六十萬圓ニ致シテモ、全
國三箇所ニ之ヲ建テラレ、成ベル師團所屬ト
申シマスカ、或ハ各府縣ニ區域ヲ區別シ
テ、各方面ニ對シテ分布的ニ傷病院ヲ御造
リニナッテ、恩惠ニ浴スルヤウナ方法ヲ御執
リニナルカ、此點ヲ御尋致シマス

○丹羽政府委員 只今佐保君ノ御尋ノ通り

傷痍軍人ハ相當數ニ上ッテ居ルノデアリマ
ス、癩病院ガ出來マシタノハ御承知ノ通り
日露戰役ノ後ニ出來タノデアリマス、ソレ
デ其當時ハ此處ニ救護ヲ要スル所ノ癩兵ヲ
收容スルト云フ建前デ出來タノデアリマス
ガ、規模ハ今日御覽ノ通りノ百名内外ノ收
容ノモノガ出來タノデアリマス、其後ニ至
リマシテ御承知ノ軍事救護法ガ出來マシ
テ、傷痍軍人、其家族、遺家族及下士卒等ノ

家族ヲ、貧困ノ爲メ必要ガアレバ救助ヲ致
シ、或ハ必要ガアレバ委託モシ、入院モ出
來ルト云フヤウナ制度ガ出來タノデアリマ
ス、併ナガラ是ハ皆貧困ノ爲ニ必要ナ場合
ニ收容シテ世話ヲ致ストカ、介護ヲ致ス
トカ云フ建前ニナッタノデアリマスガ、今日
軍事救護ガ普及ヲ致シマシタ上ニ於キマシ
テハ、癩病院、即チ今回ノ傷兵院ナルモノ
ハ極ク傷病ノ程度ノ重イ、謂ハ、收容シテ
介護ヲ要スルヤウナ重キ人達ヲ收容スル、
ソレハ名譽アル是等傷痍軍人ノ待遇トシテ
ハ、當然——必シモ貧困ト云フコトヲ言ハ
ズトモ、介護ヲ要スルヤウナ人ヲ收容入院
セシムルノガ宜イト云フ、斯ウ云フ考デ此
改正案ハ出來テ居ルノデアリマス、御尋ノ
假ニ三項症以上ノモノトシテモ二千餘モ
アルデハナイカ、收容人員百名内外ト云フ
ノハ甚ダ少クハナイカト云フ御尋デアリマ
スガ、今日マデノ實蹟、今日マデノ入院志
望ト云フモノヲ大體考ヘマシテ、今日ノ所
デハ此程度デ宣シカラウ、サウシテ既ニ此
處ニ重イ傷痍軍人ヲ收容致シマス上ハ、相
當ノ待遇、相當ノ慰安ヲ致スヤウナ設備ヲ
要スルコト、思ヒマス、別ニ贅澤ナコトヲ
考ヘテ居ル次第デハアリマセヌガ、質素ニ
シテ是等重イ傷痍軍人ヲ入院セシムルニ相

當スルダケノ設備ハ要ル、斯様ニ考ヘマシ
テ、今回ノ此豫算ヲ計上シタヤウナ次第デ
アリマス、又次ニ是デモウ十分ナノカ、斯
ウ云フ御尋デアリマスガ、今日迄ノ所此程
度デヤッテ行クト云フノデアリマスガ、將來
必要ガアリマスレバ、又ソレニ應ズル方途
ヲ講ズベキモノト考ヘテ居リマス、次ニ遠
隔ノ地方ナドニ居ル者ハ傷兵院ニ入院スル
ノガ不便デアル、隨テ東京附近ニ一箇所
アッタノデハ其附近ノ者ダケガ入院スルコ
トガ出來、他ノ者ハ恩惠ニ浴シナイノデハ
ナイカト云フ御話デゴザイマスガ、重イ傷
痍軍人デアッテ、本當ニ介護ヲ要シ收容セラ
レナケレバナラヌヤウナ状態ニアル人達
ハ、遠方カラモ入院ヲ希望スルモノト思ヒ
マス、入院ニ付キマシテハ旅費ヲ給シマシ
テ、實際ニ不便ナカラシムルヤウニ致シテ
居リマス、隨テ今日ノ所デハ其歴史アリ光
輝アル此傷兵院ヲ改善シテ、維持シ、名譽
アル傷痍軍人ノ待遇ヲ好クシテ行カウト云
フコトガ最モ良イ事デ、此金ヲ全國ニバラ
撒クト云フヤウナ考ハ毛頭持ッテ居リマヒ
ヌ、今日ノ所デハ此案ガ最モ適當デアルト
ス様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○佐保委員 大體分リマシタガ、傷痍軍人
ガ百人程度デ將來ニ於テ増スト云フコトニ

ナレバ相當考慮シヨウト云フ御話デアリマ
スガ、是ハドンナニ御擴ゲニナリマシテ
モ、ドンナ方法ヲ御盡シニナツテモ、是ハ東
京竝ニ附近ノ人ガ恩惠ニ浴スルノミ、九州
ノ涯、北海道ノ涯カラハ比較的少カラウ、
此數ハ増サナイト考ヘテ居リマス、何トナ
レバ今日現在ノ陸海軍ノ病院モ其通り、然
ルニ孤獨ノ人デ——養老院ナレバ、總テサ
ウ云フ者ハタツタ一人デアルカラ、病院ニ
入ッテ御助ケヲ被ッテ、相當ノ娛樂ノ方法モ
講ジテ戴ケテ洵ニ結構カモ知レヌ、併ナガ
ラ親子ハナクトモ、兄弟親戚ガアレバ、其
精神的ノ慰安ト云フモノハ、遠方ニ隔離セ
ラレテ何ノ慰安ガアルモノデハナイ、絶對
ニナイ、斯様な場合ニ遠方カラ此東京マデ
來テ入院シテ、殆ド島流シ同様デ、家族の
ノ慰安ガ更ニ無イ、親戚友人ノ慰安モ更ニ
無イ、左様な方法デハ私ハ駄目ダと思フ、百
人デ足りナレバ相當ノ方法ヲ講ズルト仰
シヤルガ、ソレハ大シテ殖エハシナイダラ
ウ、現在私ガ海軍ノ方ノ施設ヲ見マスノニ、
横須賀ノ如キハ館山ニ病院ガアル、吳、佐
世保ノ如キハ別府ノ龜川ニアルガ、別府マ
デ僅ニ三四十里離レテ居ル、時間ニ於テ十
時間掛ル、其時間ヲ費シテ行クノミナラ
ズ、多大ノ費用デハナイガ、兎ニ角數圓ノ

金ヲ要スルカラ、友人或ハ親戚ハ殆ド行カ
ナイ、其治療所ニ運バレテ隔離サレテ、島
流シ同様、精神的ノ慰安ガ更ニ無イノデア
リマスカラ、將來ハ各師團或ハ各軍港ニ近
イ處、少クトモ一時間カニ時間ノ汽車デ行
ケ、僅ナ旅費デ一箇月ニ一度、二箇月ニ一度
面會ニ行ケル處ヘ、病院ヲ造ッテ貰フノガ
適切デアルト云フコトヲ、今日デハ海軍デ
モ認メテ居ル、併ナガラ大藏省ガ認メナ
カッタ爲ニ、本年豫算ニ計上出來ナカッタノ
デアリマスガ、斯様な次第デ現在ノ陸海軍
ノ現役兵デサヘ非常ニ苦痛ヲ感ジテ居ル、
況ヤ名譽ノ癡兵傷痍軍人ガ、戰爭ノ時先頭
ニ立ッテ名譽ノ負傷者トナッテ、世間カラチ
ヤホヤ言ハレルガ、一旦傷イタ後ハドウカ、
殆ド顧ミラレナイデ、人カラ指サレテ笑ハ
レルト云フヤウナ狀態デ、市中ヲウロツイ
テ居ルノヲ私共甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ル、何
トカ之ヲ救ヒタイ、吾々ガ昨年熱河方面ノ
慰問ヲシタ結果、三回マデモ戰闘ニ行ッテ
傷イテ、手ガ折レ足ガ折レタト云フヤウナ
兵隊ニ遭ッテ、面ヲソムケタヤウナ次第デ、
戰爭ハシナケレバナラヌガ、是等ヲ遇スル
方法ヲ講ジナケレバナラヌ、或ハ不幸ニシ
テ戰死スレバ、其人ハ多大ノ苦痛ガナイカ
ラ幸福カモ知レヌガ、併ナガラ其遺族ヲ如

何ニ救済スルカ、引續イテ三度マデ傷イテ
郷里ニ歸ッテ來タガ、仕事ガ出來ナイト云
フヤウナ者、ソレモ相當當方有レバ慰安ノ
方法モアラウ、介抱ノ方法モアルカモ知レ
マセヌガ、タツタ一人孤獨デ傷兵院ヘ御ヤリ
ニナル以上ハ、九州ノ涯カラ東京マデハ來
ナイダラウ、北海道ノ涯カラモ來ナイ、況
ヤ親戚友人ヲ捨テ、一人傷兵院ニ行ケマス
カ、精神的ノ慰安ヲ何處ニ求メルカ、唯單
純ニ娛樂方法ヲ與ヘテ之ヲ遇シヨウ、ソレ
モ結構デアルカ知ラヌガ、私ハ之ニモウ一
ツ精神的慰安、家族の慰安ヲ與ヘナケレバ
ナラヌト思フ、故ニ私ハ數箇處ニ造ッテ——
立派ナモノヲ造ラヌデモ、六十萬圓支出シテ
全國ニ三箇處位造ッテ、而シテ之ニ近イ處ノ
兵ヲ御入レニナルト云フ方法ヲ探ッタナラ
バ、是レ以上ノ效果ガアリハシナイカと思
フ、幸ヒ軍事當局ガ御出デニナリマスカラ、
私ハ此案ニ對シテ反對デハアリマセヌ、モ
ウ一步進ンデ此金デ三箇處造ッテ戴キタイ
ト云フ希望デアリマス、サウシテ全國のニ
傷兵ニ此恩惠ヲ普及セシメル方法ニ出ルコ
トヲ、今回ハ兎ニ角將來ニ於テサウ云フ御
考ハナイカ、之ヲ軍事當局カラ直接承リタ
イト思フノデアリマス

軍部ノ要望ト致シマシテハ、既ニ本會議デ
申上ゲタ通りデアリマス、只今ノ地方ノ近
イ處ニ、建物ハ少シ位惡クテモ宜イカラ置
イテ吳レヌカト云フコトハ、確ニ善イ事デ
アリマシテ、私共ハソレヲ決シテ否認スル
モノデハゴザイマセヌ、ゴザイマセヌガ、併
シ假令ソレヲ置キマシテモ、必シモ其土地
ニ丁度好イ工合ニ傷兵ガ配サレルトモ言ヘ
ヌノデアリマス、デアリマスカラ御趣旨ハ
研究ヲ致シタイト思ヒマスガ、今回ノ此傷
兵院ニ付キマシテハ、陸軍海軍共ニ能ク研
究ヲ致シマシテ、其大部分ノ要求ハ皆組入
レラレテ居ルノデアリマス、又附添人、家
族ニ對スルコトニ付テモ、相當合法的ニ研
究ヲシ得ルヤウニ考ヘテ居リマス、ドウカ
其點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○富田政府委員 只今ノ御話デアリマス
ガ、今ノ傷兵ノ待遇トシマシテハ、御承知
ノ通りニ必シモ傷兵院ダケデ救済シテ居
ルノデハアリマセヌ、御承知ノヤウニ軍事
救護法ガアリマシテ、是ハ相當ノ國費ヲ出
シテ出來ルダケノ救護ヲ致シテ居リマス、
救護シテ居ル人ノ數モ相當ニ上ッテ居リマ
ス、又傷兵ニ付テハ御承知ノ通り地方デハ
相當ノ施設ヲ致シマシテ、之ヲ物質的或ハ
精神的ニ相當ニ優遇シテ居リマス、只今長

官カラ申シマシタヤウニ、癩兵院ハ傷病者デアッテ介護ヲ要シ、殊ニ希望者ニ付テ出來ルダケノ優遇ヲシヨウト云フノデ、家庭デ救護スルコトヲ本位トシマスケレドモ、尙ホ家庭デハ十分ノ救護ガ行渡ラナイト云フモノヲ傷兵院ニ收容シタイト云フ趣旨デアリマス、實際カラ申シマス只今ノ所非常ニ澤山ノ申込ガアッテ、收容シ切れナイ程ニ希望者ガアルカト申シマスルト、實際ハ軍事救護ガ相當ニ行渡ッテ居リマスシ、其他ノ待遇ノ方法ガ具ッテ居リマスル關係上、只今ノ定員デ大體希望ヲ滿シテ、申込ヲ却下スルト云フヤウナモノハ殆ドナイヤウナ狀態デアリマス

ノ仕事ヲ與ヘテ、其收入ヲ本人ノ收入トシテ居ルカ、サウ云フ傾向ガアリマスカ御伺致シタイトデアリマス

○富田政府委員 只今ハ癩兵院ノ中デ癩兵院ソレ自體トシテノ授産ハ致シテ居リマセヌガ、併シ各傷兵ノ希望ニ應ジマシテ、自ラ内部ニ居ッテ仕事ノ註文ヲ受ケマシテヤッテ居ル者モアリマス、又非常ニ重病デナイ者ニ付キマシテハ、自ラ外部ニ出テ仕事ヲ致シテ居ル者モアリマシテ、自己ノ趣味ニ依ッテ殘ッテ居ル四肢ヲ利用ヲ致シテ、適當ノ收入ヲ得テ居ルト云フ方法ガ只今行ハレテ居リマス

○吉田政府委員 他ノ政府委員カラ御答ニナリマシタ通り考ヘテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○清水委員 極ク簡單ニ一ツ二ツ御伺致シマス、只今佐保君トノ質疑應答デ大體分リマシタ、私共ハ或ハ亞米利加ナリ、獨逸ナリ旅行シタ時分ニ、癩兵院ヲ見マシタガ、各地方ニ於ケル癩兵院ニ於テハ、癩兵ニ種種授産シテ居リマス、仕事ヲ與ヘテ居リマス、其仕事ノ利益ヲ其癩兵ノ所得ニシテ居ルト云フ風ナ傾向ヲ見テ居リマスカ、日本ノ癩兵院ニ於テモ、本人ノ希望ニ依ッテ色々

○清水委員 只今ノ授産ニ對スル收入ハ本人ノ收入ニサセテ居リマスカ

○富田政府委員 左様デゴザイマス

○清水委員 今日本ニ於テ志望者ノ數ニ丁度適應スル位ノ設備ダト云フ御話デゴザイマシタガ、是ハ本人ノ希望ヲ其儘受入レテ、サウシテ今ノ設備デ間ニ合フノデスカ、或ハ何カ塞ッテ居ルト云フ理由ノ下ニ斷ルヤウナ傾向ハナイノデスカ

○丹羽政府委員 先程佐保君カラモ縷々御述ニナリマシタシ、又清水君カラモ同様ナル御質問デアリマスルガ、詰リ傷病軍人ガ多數アルノニ希望者ガ少イト云フナラバ、ソ

レハ不思議ダト云フヤウナ御感ジノ下ニ御尋ノコト、思ヒマス、大體先程社會部長カラ申サレテ居リマスカヤウニ、傷病軍人モ此軍事救護法デ其自分ノ家庭デ、即チ居宅デ救助ヲ色々致シテ居リマス、ソレカラ場合ニ依リマシテハ、地方ノ施設ニ收容ヲ致スヤウナコトモアリマス、ソレデ現在ノ所デハ何等特別ナル制限ヲ致シテ居ル次第デハアリマセヌガ、傷兵院トシテハ現在ノ程度ノ申請ヲ以テ足リテ居ルヤウナ次第ナノデアリマス

○清水委員 是ハ只今デナクテモ宜シウゴザイマスガ、各國ノ癩兵院ノ收容人員ノ狀態並ニ其經費等ニ付テ、後デ統計ヲ願ヒタイ、次ニ私ハ陸海軍ノ政府委員ニ御伺致シタイノデスカ、現在ノ兵役制度ニ於キマシテ、農村其他非常ニ困ッテ居ル家庭ノ者ガ兵役ニ就ク、其結果其家族デ生活ニ難澁スル者ガ尠カラズアルノデアリマス、所ガ他面ニ於テ此兵役ガ免除サレテ居ル、相當金持ノ息子ガ、唯身體ガ惡イト云フ爲ニ免除サレル、何等義務ヲ負ハナイ、是ハドウモ不公平デハナイカ、今日ノ傾向ヲ見マスト、寧ロ貧家ノ子弟ガ餘計兵役ニ就イテ、金持ノ息子ノ方ガアベコベニ兵役ヲ免除サレテ居ル、是ハ社會政策上面白クナイ、是等兵

役ヲ免除サレタ者ニ向ッテ、兵役稅、或ハ免除稅ト申シマスルカ、嘗テ十五六年カ二十年前ノ議會デ問題ニナッタト私ハ記憶シテ居リマスガ、サウ云フ風ノ税金ヲ取ッテ、其税金ニ依ッテ、或ハ軍事救護法ナリ、或ハ此癩兵院其他必要ナル費用ニ支出スルヤウニスルナラバ非常ニ利益デハナイカ、現在此兵役稅法ニ付テ陸軍當局ハ元ト同ジヤウニ矢張反對ノ意思デゴザイマスルカ、或ハ之ヲ設ケテモ宜イト云フ風ノ意思ガゴザイマスルカ、ソレヲ陸海軍當局ニ御伺致シタイト

○山岡政府委員 此兵役稅ニ付キマシテハ兵役ニ取ラレヤウナ人ハ日本ノ國民ノ中デ最モ優レタ人デアリマシテ、年々最近デハ十一萬人餘モ入ッテ居リマスガ、其人ハ就中立派ナ優秀者デアリマス、隨テ其優秀者デアルト云フ所ニ非常ナ名譽モアリマスシ、又町村、鄉黨ハ之ヲ誇ト致シマシテ、其兵役ニ就キマス時ハ無論ノコト、就イテ居ル間ハ鄉黨デ皆其出テ居ル者ノ家ヲ、物質的デナシニ能ク援助シテ居リマス、例ヘバ朝ノ行ク時デモ、其門ヲ通レバ御變リナイカドウカト言ッテ通ッテ行キマス、歸リニハドウカ、手紙デモ來タカト言ッテ行く、是ガ本人ニ對スル非常ナル光榮ニナッテ居リマス、就中ソレハ近所隣ノ者デナシニ、其村ノ有

力者ガ特ニ聲ヲ掛ケテ呉レル、又物質的デナシニ世話ヲシテ呉レルト云フコトガ、物質的ヨリモ一層善イ事デアルト云フコトヲ最近言ウテ居リマス、サウ云フ所カラ此兵役ノ義務ト云フモノガ、實ニ其郷黨ノ誇トシテ今日マデ來テ居ルノデアリマス、ソレヲ兵役ニ出得ナイ者カラ取ツタ金ヲ以テ、貧乏ナ者ニハ遺ルト云フコトニシマス、其兵役ノ名譽ナ義務制ニ對シマシテ、金錢ヲ以テ神聖ナル兵役義務ノ意義ヲ踏壞ハス虞ガアルノデアリマス、此點カラ從來陸軍ト致シマシテ、日本ノ兵役ノ最モ尊重スベキ所ノ意義ヲ失ッテハナラヌト云フコトカラ反對シテ居ル譯デアリマス

第二ニハ此兵役義務ニ就イタナラ損失ガ多イト言ヒマスガ、確ニ損失ハ多イノデアリマセウガ、或ハ全人生ヲ考ヘテ見テ、果シテソレガドレダケノ損失ニナルカト云フコトハ、大ナル疑問ダト思フノデアリマス、サウ云フ關係カラソコニドノ位ナ經濟上ノ損失ガアルカト云フコトハ、稱ニ掛ケテモ非常ニムヅカシイ問題デアリマス、サウ云フコトヲ考ヘマスト云フト、此兵役義務者ガ、單ニ兵役義務ニ行ツタ者ガ、非常ニ損デアル、行カヌ者ガ得デアルト云フコトハ言ヘヌ譯デアリマシテ、一時ハソンナヤウニ

見エルカモ知レマセヌケレドモ、併シ兵役ニ行ツテカラ利口ニナル者モアリマスシ、締リノ出來ル者モアル、身體ノ良クナル者モアリマス、全人生カラ言ウタナラバ、果シテ得失ハ疑問デアリマス、獨逸邊リデハ兵役ニ行カヌ者ハ會社ニモ何處ニモ探ラナイト云フ位マデ進ンデ居ル處モアルノデアリマスガ、實際日本ノ兵役義務ト云フモノガ段々ニ進ンデ行キマシタナラバ、又知名ナ人ノ後援ヲ受ケ、其眼識デ觀ラレタナラバ、兵役ニ行ツテ來タ者ハ行カヌ者ヨリモ、何ニデモ使ヘルト云フ風ニナツテ來ルダラウト思ヒマス、斯ク觀マシタナラバ、ソレハ損失デアアルカドウカト云フコトハ又疑問ダト思ヒマス、ソレニ反シテ前ニ申シマシタヤウナ、今マデ執ツテ來マシタ重大ナル任務、名譽ヲ金ニ依ツテ没却シテシマフト云フコトガ、從來陸軍トシテ兵役稅ヲ採用シナイ根本デゴザイマス、ソレデ強ヒテ兵役ニ行カヌ者カラ皆金ヲ取レ、斯ウ云フ風ニナリマスと云フト、丁度人頭稅見タイニナツテシマフトデアリマス、貧乏ナ者ハ出サヌデモ宜イ、金持カラ出セト云フコトニナルト云フト、是ハ又甚ダ不自然ナコトニナルノデアリマス、兵役ニ行キマシタ者ニ付テハ、貧乏ナ者ニ付テハ先程モ御話ガアリマシタ

ガ、兵役義務者癡兵待遇審議會ニ於テ決ツタ事項ヲ目下著々審議シテ居リマスカラ、急速ニハ全部ハマダ行ツテ居リマセヌケレドモ、サウ云フモノ、物質上ノ救護ニ付テハ若干ヤツテ居リマス、唯少シハ足ラヌ所モアルダラウト思ヒマスルガ、其足ラヌ所ノ金ヨリモ、出テ居ル間、殊ニ其郷黨ノ有力者ガ、オ前ノ家ハ此頃ハ變リハナイカ、シッカリ一ツ留守ヲ守ツテ呉レト言フコト、其事ガ非常ナ力ニナツテ居ルト思ヒマス、或ル田舎ノ小學校アタリヘ行キマス、出タ壯丁ノ名前ト寫眞ヲ掲ゲマシテ、サウシテ是ハ今何處ノ聯隊ヘ行ツテ居ル、今度上等兵ニナツタト云フコトヲ、小學校ノ生徒ニマデ教ヘテ居ル學校ガアリマス、ソレハ村ノ矢張有力者ガ指導シマシテ、サウシテ小學校ノ生徒ニモ、是ハ非常ナ村ノ誇ニナル人デアル、優レタ人デアルト云フコトノ印象ヲ與ヘテ居ル譯デアリマス、其事自身ガ非常ナ兵役義務ノ又名譽アル後援ダト信ジテ居リマシテ、サウ云フ理由デ兵役稅ヲ直チニ採用ヲスルコトハ出來ヌノデゴザイマス、以上御答致シマス

シテモ無論全然陸軍ト同様ノ考ヲ以テ今日マデ來テ居リマス、隨ヒマシテ其根本精神ヲ確立スルヤウニ、更ニ現在ヨリモ擴メマシテ、名譽アル兵役ヲ進ンデ果スト云フ精神ヲ涵養スルト云フコトハ洵ニ價值アリ、又必要ナコト、存ジテ居リマシテ、其點ニ付テ更ニ附加ヘルコトモゴザイマセヌ、トハ言フモノハ、若干物質上負擔ガアルト云フコトハ、是ハ爭ヘヌ事實ト思ヒマスノデ、今迄申上ゲマシタ精神ニ反シナイ方法デ、何カ其對策ヲ考究スルコトハ價值アリ、又必要ナコト、考ヘテ居ル次第デアリマス

○清水委員 日本ニ於キマシテ徵兵ヲ忌避スル者ハ、主ニ知識階級デアリマス、比較的農村其他ノ人ハ徵兵ヲ忌避スル者ハアリマセヌ、インテリ」階級ニ於テハ隨分徵兵ヲ忌避スル者ガ少ナカラズアルノデアリマス、亞米利加アタリノ實例ヲ見マスルト、丁度歐洲戰爭ノ時ナドニ於テハ、亞米利加ハ日本ノヤウナ徵兵制度デアリマセヌ、志願兵制度ニナツテ居リマスガ、戰爭ガ始マルヤ第一ノ志願者ハ「エール」「ハーバート」各大學ノ生徒デアリマス、殆ド主ナル大學ハ半分位ハ休校シタ、一兵卒トシテ戰線ニ立ツ、其結果學校ガ休校スルト云フ程、亞米利加アタリノ「インテリ」階級ニ於テハ相

當ニ理解ガアル、所ガ日本ニ於テハ却テ「インテリ」階級ガ理解ヲ有タズ、而モサウ云フ風ノ人ハ何レカト云フト、比較的資産アル家庭ノ人ガ多イ、其者ガ徴兵ニ行カナイ、兵隊ニ行カナイ、サウシテ何等之ニ對シテ自分ガ負擔ヲシナイト云フコトハドウモ間違ッテ居ル、之ニ付テハ徴兵ヲ免除サレタ人、或ハ其人ノ資産狀態ニ依リ何カ之ニ付テ税金ナリ、他ノ方法ヲ以テ幾ラカ義務ヲ負ハシムルヤウナ策ヲ御考ニナッタラドウカ、更ニ又兵隊ニ參ッタ人デ實際困ッテ居ル人ニ付テハ、色々今説明ガアリマシタガ、是等ニ付テハ私ハ尙ホ徹底的ニ困ッタ家庭ノ兵役ニ就イタ者ハ救助願ヒタイと思ヒマス、兵隊ニ行ッテ歸ッテ來タ者デ、隨分働キ盛リナノニ、二三年入營シタ爲ニ職ヲ失フ者ガ少カラズアルノデアリマス、特ニ役所ナンカニ就テ見マスルト、兵隊ニ行ッテ歸ッテ來ルト云フト、其人ハ其職ヲ繼續スルヤウナ規定ニハナッテ居リマス、ナッテ居ルガ、實際ヲ觀テ見ルト、一年ナラ一年行ッテ來ル、行ッテ來ル度ニ他ノ後輩ノ者ガドン／＼進級スル、其者ハ就職スルコトハ出來マスガ、其間停頓シテ居ル、サウスルトソレダケ出世ガ遅レル、サウシテ一番人間ノ働盛リニ於テ、一番能率ヲ擧ゲル時ニ於テ兵役ニ行キ

マス爲ニ、其人ノ將來ノ爲ニ非常ニ故障ヲ生ズル場合ガアル、是等ノ者ニ付キマシテハ、サウ云フ風ノ者ハ特ニ優遇スルト云フヤウナ方法、例ヘテ見レバ陸海軍、其他ノ關係省ニ於テハ、主トシテサウ云フ者ヲ或ハ官吏ナリ、公吏ナリ、或ハ其他ノ方面ニ使フヤウニ、サウ云フ職ヲ失ッタ者ニ職ヲ與ヘルコトニ付テ何カ御考ガアリマスカ、ソレ等ニ付テモ伺ヒタイ

○山岡政府委員 御尋御尤デアリマスガ、其件ハ兵役義務者癡兵待遇審議會ノ答申事項ノ中ニアルコトデアリマシテ、今研究サレツ、アルノデアリマス、近ク何等カ實現ハサレルガラウト云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、今斯ウ決マッタト云フコトハ、私ノ方カラ申サレマセヌケレドモ、或ハ内務當局カラデモ御話ガアルカモ知レマセヌ

○吉田政府委員 今ノ件ハ從來海軍ト致シマシテハ、例ヘバ工廠ノ職工デアリマストカニ、色々退營者ヲ採用シテ居リマス、サウ云フ風ナ方面ニモ其趣旨ヲ汲ミマシテヤッテ居リマス、御趣旨ハ御同感デアリマス、尙ホ今後トモサウ云フ方面ニ付テハ色々部外トモ連絡ヲ執リマシテヤッテ行キタイト考ヘテ居リマス

○富田政府委員 此兵役ヲ了ヘマシタ者ノ職業ニ付キマシテハ、御承知ノ通りニ入營者職業保障法ト云フモノガアリマシテ、入營者ニ對シテ舊地位ニ就クコトヲ出來得ベク保障致シテ居リマス、假ニソレガ出來ナイ場合ニ於キマシテモ、舊地位ヲ有ッテ居リマセヌ者ニ付キマシテモ、退營後職業ヲ要望スル者ニ付キマシテハ、職業紹介所等ニ於テ出來ルダケ職業ノ斡旋ヲ致シテ居リマス、今日迄ノ成績デハ、其規律ニ於テ、其行動ニ於テ洵ニ適當デアルト云フコトデ、可ナリ好評ヲ博シテ居リマシテ、世ノ同情ト勤務ノ誠實ナル爲ニ、可ナリ能ク就職ガ出來テ居ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○守屋委員長 松尾君

○松尾委員 私一寸簡單ニ少シク御同致シタイと思ヒマス、此改正案ニ依リマスト、現行ノ癡兵院法ニ依ッテ收容サレテ居ル者ハ、改正法ガ施行サレテモ其儘在院サレルコトニナッテ居ルヤウデアリマスガ、現行法ニ依ッテ收容サレ得ル者デモ、改正法ニ依ッテ收容出來ナイト云フヤウナ者ガ出來タ場合ニハ、是ハドウ云フヤウナ方法ヲ御執リニナル御積リデアリマスカ、伺ヒタイ

○富田政府委員 御話ノ通りニ現在收容シテ居リマス者ハ、是ガ改正ヲ見マシテモ、其儘大體ニ於テ收容シテ置クコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、サリナガラ在院者ニシテ段々ト退院シテ行ク者モアリマス、デスカラ從來ノ例カラ見マシテモ、出デ行ク者、新ニ入ル者ハソレレ調節ガ取レテ居リマスガ、將來ト雖モ——現在居ル者ハ其儘收容スルノデアリマスガ、ソレデモ大體調節ガ取レマシテ、此法律ニ依ッテ收容サレル者モ大體ニ於テ收容ガ出來ルノデハナイカと思ヒマス

○松尾委員 私ノ御尋シタイと思フノハ、斯ウ云フノデゴザイマス、現行法ニ依ッテ收容シテ居ル者ノ中、此改正法ニ依レバ該當シナイ者デモ、現ニ入ッテ居ル者ガハ終身——最後マデ入レテ置クラシイノデスガ、新ニサウ云フ者ガ出來タ場合ハドウスル御積リデアリマスカ、其儘抛ッテ置カレルノデアリマスカ

○富田政府委員 若シサウ云フ意味ナレバ、私ノ先刻ノ御答ハ當ッテ居ラナカッタカモ知レマセヌ、若シ中ニ入レナイ者ガアリマスレバ、前ニ申シマシタヤウニ、軍人ノ救護ニ付テハ軍事救護法ガアリマスカラ、ソレニ依ッテ救護サレルコト、思ヒマス

○松尾委員 昭和九年度ニ於テ新營サレル此傷兵院ト云フモノハ、ドノ程度ノモノデアリマスカ、何カ設計、御計畫等ガ今御分

リデアリマシタナラバ、御示シテ願ヒタイ
ト思ヒマス、ソレカラ其經費ニ付キマシテ、
此處ニ基金ノ内五十萬圓ヲ一般會計ニ繰入
レルコトニナッテ居リマスガ、其五十萬圓以
外ニドノ位支出サレル豫定デゴザイマスカ、
ソレカラ收容サレル定員ハドノ位ニナル御
豫定デスカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○富田政府委員 收容ノ定員ハ百名ノ積リ
デアリマス、改築ノ爲ニスル經費ハ五十萬
圓デアリマシテ、大體現在ノ基金ヲ以テ處
理スル積リデアリマシテ、特ニ國ヨリノ補
給ハゴザイマセヌ、設備ニ付キマシテハ、
現在ハ可ナリ手狭デモアリ、設備モ十分デ
ナイノデアリマスカラ、是ガ療養、慰安等
ニ付キマシテハ、マダ具體的ニハ設計モ出
來テ居ラヌノデアリマスガ、十分ニ傷兵ト
シテノ慰藉ノ出來ルヤウニ是レノ設備計畫
ヲ致スヤウニシタイト考ヘテ居リマス

○松尾委員 百名ノ定員ヲ超エテ志願者ガ
アツタ場合ニハ、ドウ云フヤウナ方法デ收容
者ヲ選擇サレルノデアリマスルカ、其點ヲ
一寸御伺致シタイト思ヒマス

○富田政府委員 此法律ノ目的ハ成ベク重
傷者デアッテ、鰥寡孤獨デアリマスルカ、
看護ヲ特ニ要スル者ヲ收容スルノガ主タル
目的デアリマシテ、其他ノ者ニ對シテハ、

家庭ニ於テ出來ルダケ軍事救護法ニ依ッテ
救護スルノガ目的デアリマス、若シ御話ノ
ヤウニサウ云フ志願者ガ澤山出テ來ルヤウ
ナ場合ガアツタシタナラバ、此法ノ精神ニ
顧ミマシテ成ベク重傷ノ者デ、且ツドウシ
テモ此傷兵院ニ於テ救護ヲシナケレバイケ
ナイト云フ、サウ云フ程度ノ重イ者カラ容
レルノガ順序デアラウト、斯様ニ考ヘテ居
リマス

○松尾委員 字句ノコトデアリマスガ、今
回ノ改正法ニ依リマス、現行法ノ「收容」
ト云フ文字ヲ「入院」ト云フ字ニ變ヘラレマ
シテ、是ハ大變感ジガ好イヤウデアリマス、
併シ其條文ノ中ニハ收容保護ト云フ字ガチ
ヨイチヨイアルヤウデアリマスガ、是ハ收
容保護ト云フ一ツノ熟字ガアッテ、感ジガ惡
クナイカラ御使ヒニナッタノデアルカ、此點
ヲ御伺致シマス、ソレカラ施行ハ勅令ト云
フコトニナッテ居リマスガ、何時頃ノ豫定デ
ゴザイマスカ

○富田政府委員 御話ノ通りニ「收容」ト云
フ言葉ヲ「入院」ト致シマシタノハ、感ジノ
點デ「收容」ト云フノハ穩當デナイト云フヤ
ウニ思ヒマシタカラ、「入院」ト云フ文字ガ
出來タコト、考ヘマス、獨立ニアル言葉ト
致シマシテハ、「收容」ト云フ言葉ガ全部

「入院」ニナッテ居リマスガ、收容保護ト云
フヤウナ言葉ガ字句ニアリマスノハ、軍事
救護法ノ關係カラ立法技術上左様ニ相成ッ
テ居ルノデアリマス、ソレカラアトハ聽落
シマシタガ……

○守屋委員長 施行期日……

○富田政府委員 施行期日ハ本年ノ五月一
日カラ施行スル豫定デゴザイマス

○松尾委員 ソレデハ私ノ質問ハ是デ終リ
マス

○守屋委員長 野方サンノ番ニナッテ居リ
マスガ……

○野方委員 今日ハヤリマセヌガ……

○守屋委員長 今日ハ此程度デ散會シマス、
次會ハ公報ヲ以テ御通知致シマス

午後四時十分散會

昭和九年二月二十二日印刷

昭和九年二月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社